

Financial Results for FY2021

COPYRIGHT 2022 Cacco Inc.

かっこ株式会社 | 証券コード:4166

2022年2月14日



2021年12月期 通期 決算説明資料

目次

- 1 2021年12月期 通期業績
- 2 成長戦略
- 3 2022年12月期 通期業績見通し
- 4 APPENDIX（会社概要・事業内容・その他参考資料）

Cacco Evolutionary Purpose

未来のゲームチェンジャーの 「まずやってみよう」をカタチに

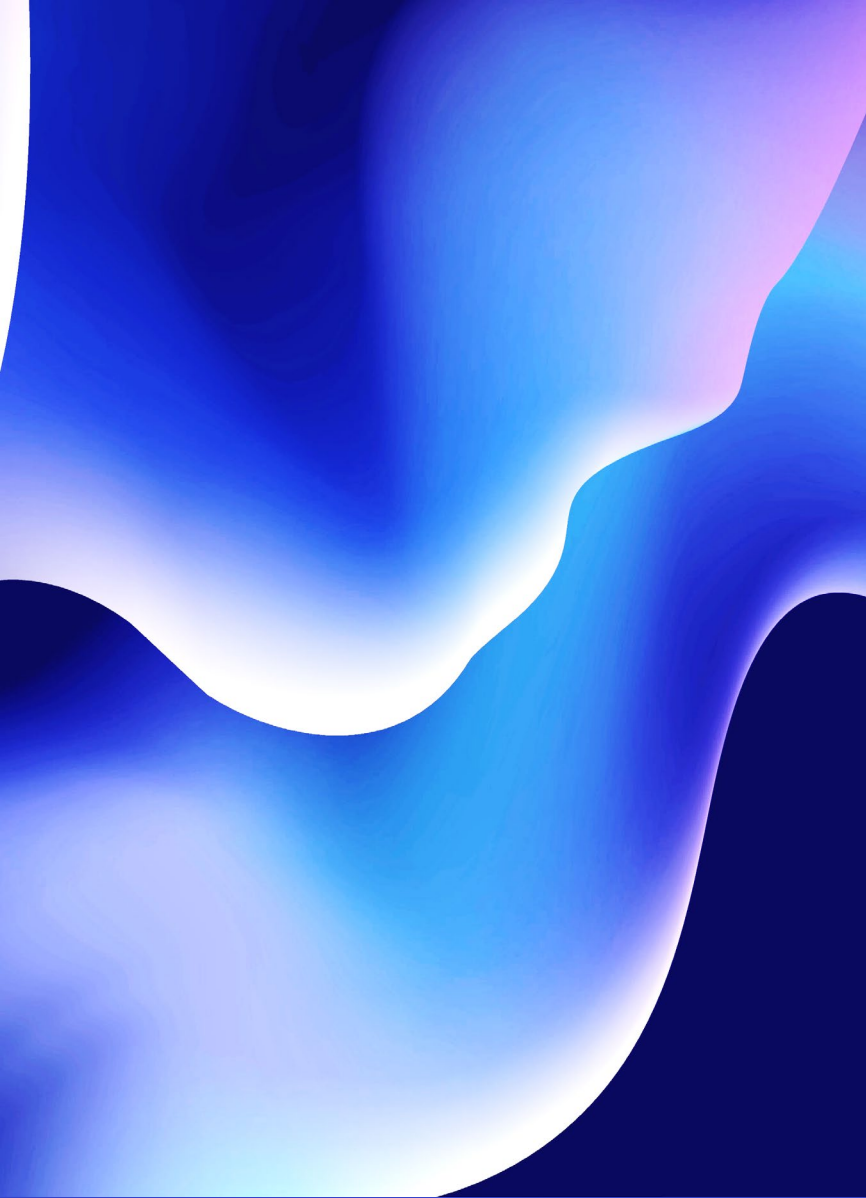
創業以来、すべてのサービスを発展させ続けてきた当社の原動力が、「Cacco Evolutionary Purpose」です。

日本は20年間GDPがほとんど成長しておらず、他の先進国の成長と比較すると、日本はグローバルでは相対的に貧困に近づいています。「未来のゲームチェンジャー」を増やし、より豊かな次世代の日本社会に貢献したい。かっこは、当社の有するセキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術で、「未来のゲームチェンジャー」となる企業や人々のチャレンジを支援し、日本の持続的な成長に貢献していきます。



2021年12月期 通期業績

Financial Results for FY2021



売上高

951百万円

前期比+14.4%

O-PLUX ストック収益

690百万円

前期比+16.0%

O-PLUX 月次解約率（年間平均）

0.24%

前期比▲0.03pt

経常利益

170百万円

前期比+47.9%

ストック収益比率

72.5%

前期比+1.0pt

O-PLUX 審査件数

6,248万件

前期比+10.5%

※O-PLUX ストック収益＝定額課金である月額料金＋審査件数に応じた従量課金である審査料金（初期導入料金等のスポット収益は含まれておりません）

※ストック収益比率＝O-PLUX ストック収益÷売上高（全サービス合計）

※O-PLUX 解約率（年間平均）＝O-PLUX月次解約率（＝当月解約ストック収益の年間平均 ÷当月初時点のストック収益）の年間平均

プロダクトの付加価値向上

新規技術開発

不正アクセス検知サービス「O-MOTION」の
端末特定技術で特許を取得。

新機能・新サービスリリース

- 不正注文検知サービス「O-PLUX」の機能拡充。
 - 外部データベース（DB）連携の拡充
（不正IPアドレスDB、飲食店電話番号DB）
 - SMS認証機能追加で本人確認作業を自動化
- チャージバック補償付不正注文検知サービス
「O-PLUX Premium Plus」をリリース。

O-PLUX
Premium Plus

低価格モデルリリース

導入障壁を解消し、幅広い事業者へアプローチ
するため2つの低価格モデルをリリース。

不正チェッカー

O-MOTION
Light

アライアンスの拡大

ECパッケージ・ショッピングカートとのAPI連携

GMOクラウドEC (提供: GMOシステムコンサルティング株式会社)、リピートPLUS・w2Commerce (提供:w2ソリューション株式会社) と不正注文検知サービス「O-PLUX」がAPI連携。



カード会社とのアライアンス

ユーシーカード株式会社、三菱UFJニコス株式会社とのアライアンスにより、加盟店向けに不正注文検知サービス「O-PLUX」を展開。



決済代行会社とのアライアンス

株式会社DGフィナンシャルテクノロジーの不正検知サービスラインナップに、業界特化型「O-PLUX」と「O-MOTION」が追加。



事業領域の拡張

サイバーセキュリティ領域へ事業拡張

株式会社サイバーセキュリティクラウド、株式会社エルテスとのアライアンスにより、サイバーセキュリティ領域へ事業拡張。



マーケティングサービス領域へ参入

MEO対策・ローカル検索最適化ソリューション「Uberall」の日本総括代理店である株式会社リカバリーと資本業務提携し、マーケティング領域のSaaS事業へ参入。

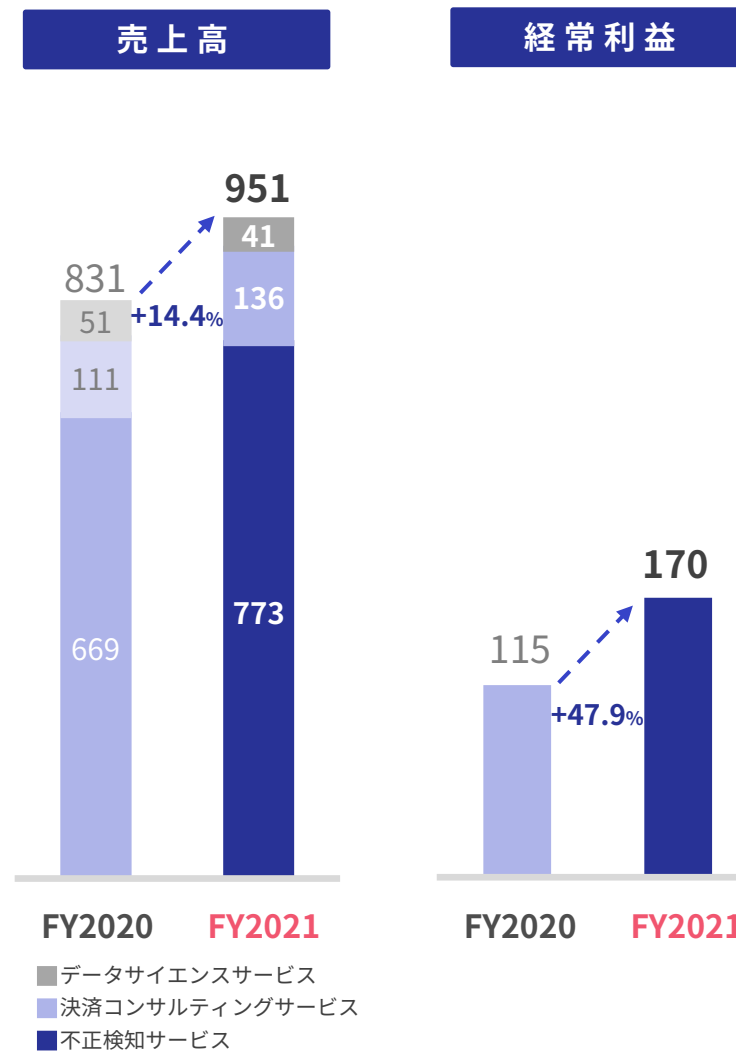


2021年12月期 通期業績 ・ 業績ハイライト



(金額単位：百万円)

| | FY2020 通期 | FY2021 通期 | 前年比 | FY2021 予想 | 達成率 |
|----------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------|
| 売上高 | 831 | 951 | +14.4% | 909 | 104.6% |
| (不正検知サービス売上高) | 669 | 773 | +15.6% | 755 | 102.4% |
| 営業利益 | 138 | 178 | +29.5% | 154 | 115.9% |
| (営業利益率) | 16.6% | 18.8% | +2.2pt | 17.0% | - |
| 経常利益 | 115 | 170 | +47.9% | 149 | 114.4% |
| (経常利益率) | 13.9% | 18.0% | +4.1pt | 16.4% | - |
| 当期純利益 | 130 | 120 | ▲7.5% | 102 | 117.6% |
| EPS (円) | 55.37円 | 45.90円 | ▲17.1% | 39.05円 | 117.5% |



2021年12月期 通期業績・売上高の推移



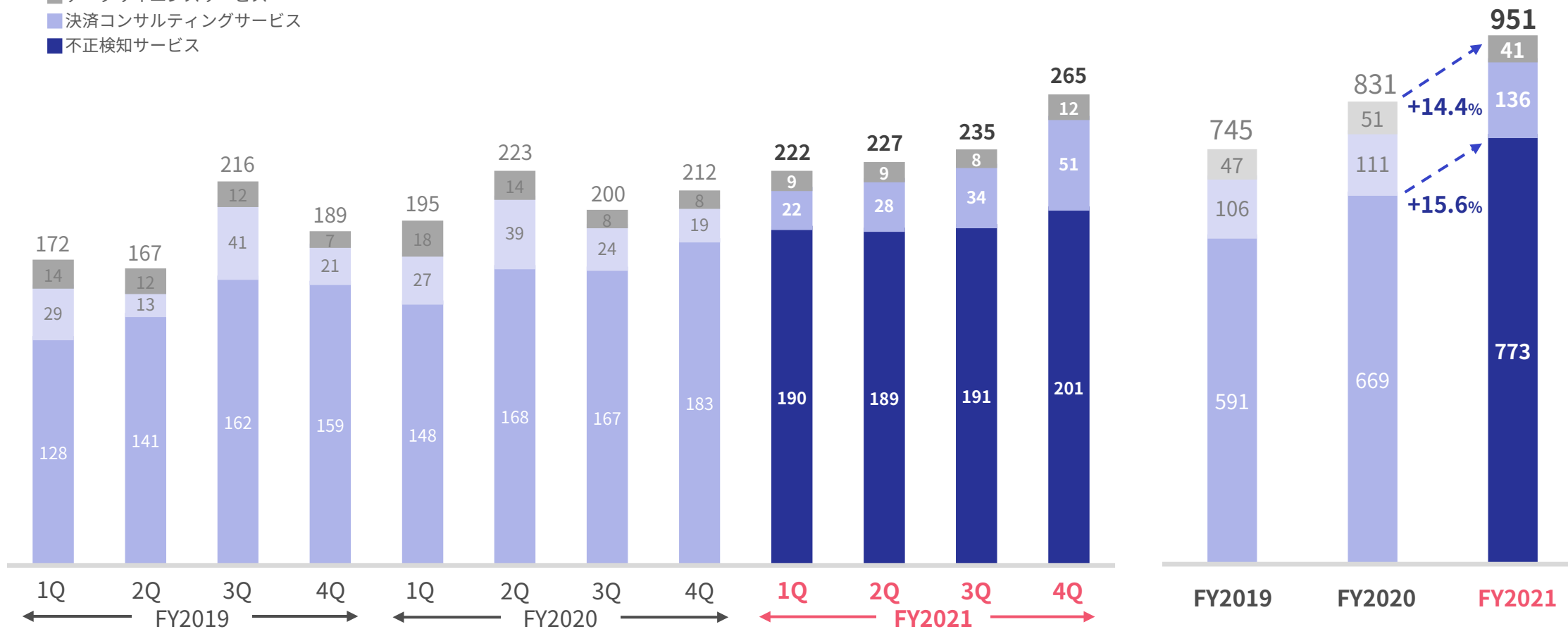
中核の不正検知サービス売上高が前年比+15.6%となり、全体売上高は前年比+14.4%に拡大。

- FY2021 通期の全体売上高が、前年成長率+11.5%を 2.9pt 上回る +14.4%で成長しており、事業拡大が加速。

売上高推移

(金額単位：百万円)

- データサイエンスサービス
- 決済コンサルティングサービス
- 不正検知サービス



2021年12月期 通期業績・サービス別売上高構成比の推移



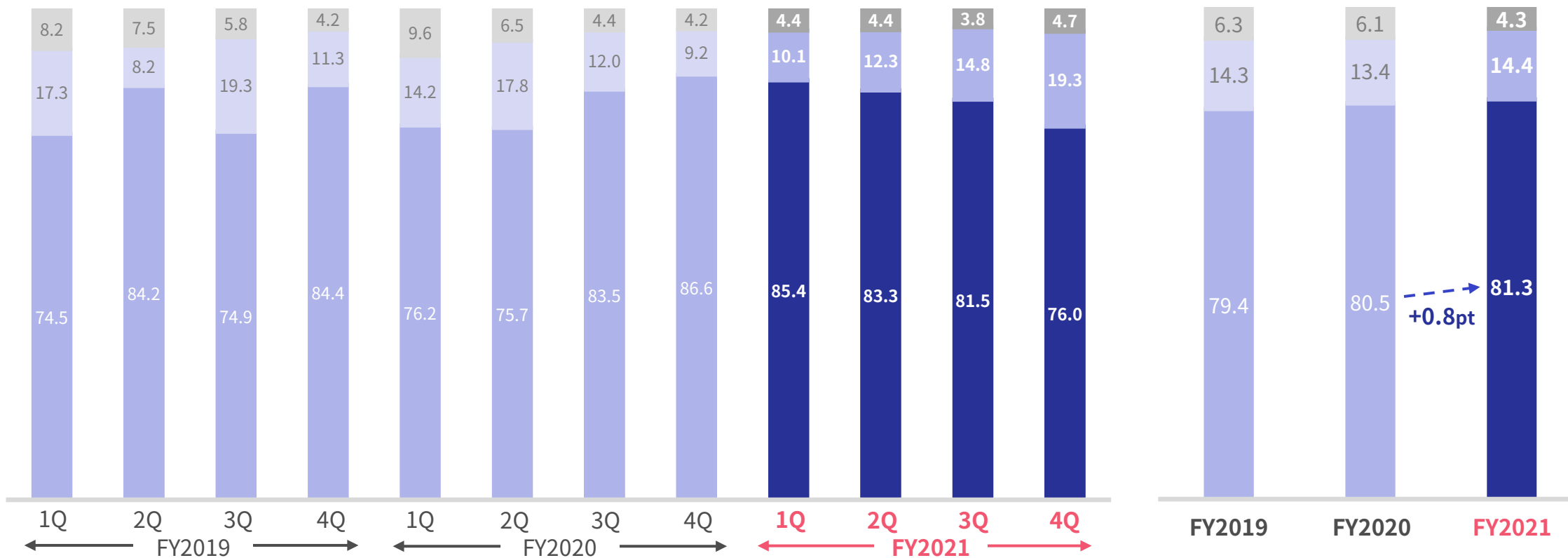
中核の不正検知サービスの売上高構成比が**81.3%** (前年比+0.8pt) に拡大。

- 不正検知サービスの四半期推移は、決済コンサルティングサービスの収益拡大により低下傾向にあるものの、売上高自体は着実に成長を持続。

サービス別売上高構成比推移

(単位：%)

- データサイエンスサービス
- 決済コンサルティングサービス
- 不正検知サービス



2021年12月期 通期業績・売上総利益の推移



売上総利益は前年比+17.5%に拡大し、売上総利益率は72.6% (前年比+1.9pt) に向上。

- O-PLUXアーキテクチャ刷新に係る減価償却費の計上によりFY2021 4Qの利益率が低下したものの、利益額自体は着実に成長を継続。
- 中長期では、サーバーコスト低減等の投資効果が減価償却費の増加を上回る見込み。



2021年12月期 通期業績・営業利益・販売費及び一般管理費の推移

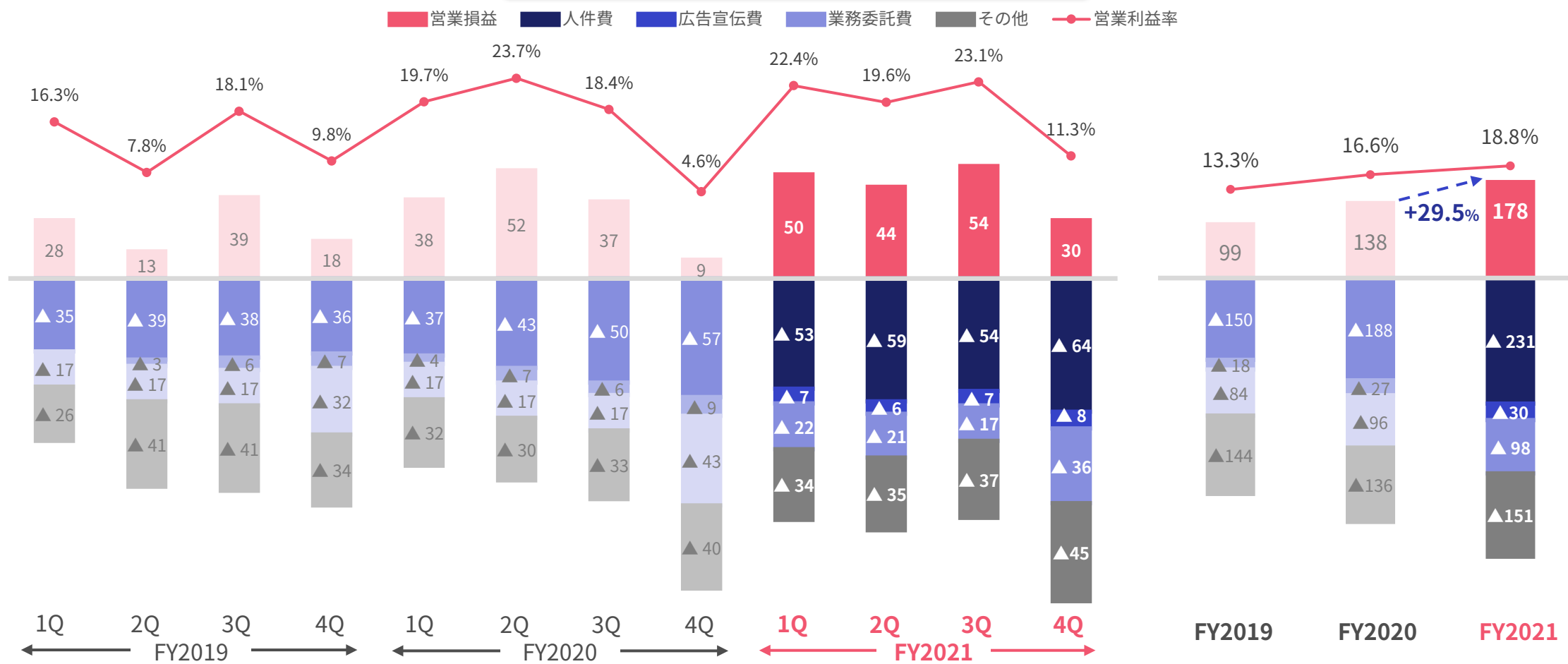


営業利益は前年比+29.5%に拡大し、営業利益率は18.8%（前年比+2.2pt）に向上。

- FY2021 4Qは、不正検知サービスのAPI連携開発及び機能開発（業務委託費）・各種市場調査の実施（その他）等、翌期に向けた投資を実行。

営業利益・販売費及び一般管理費推移

（金額単位：百万円）



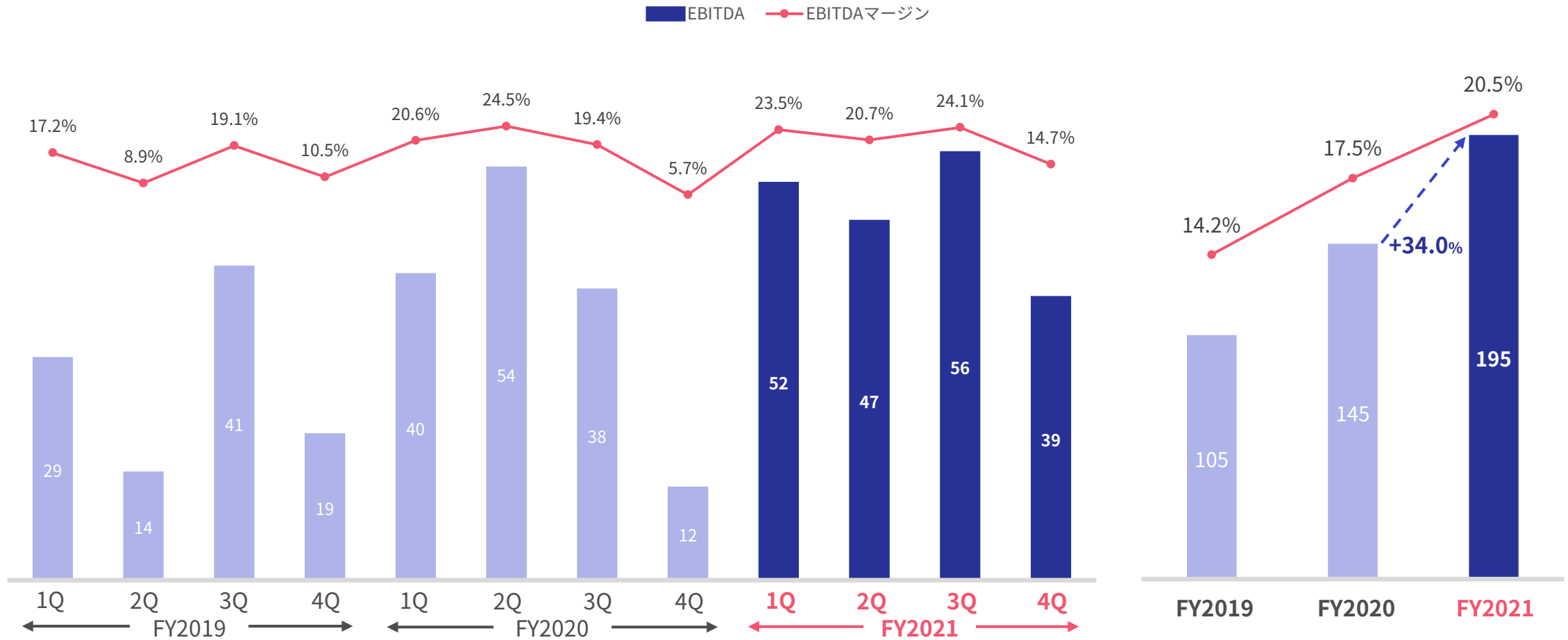
2021年12月期 通期業績・EBITDAの推移



EBITDAは利益成長に伴い順調に増加し、EBITDAマージンは**20.5%**（前年比+3.0pt）に向上。

EBITDA推移

(金額単位：百万円)

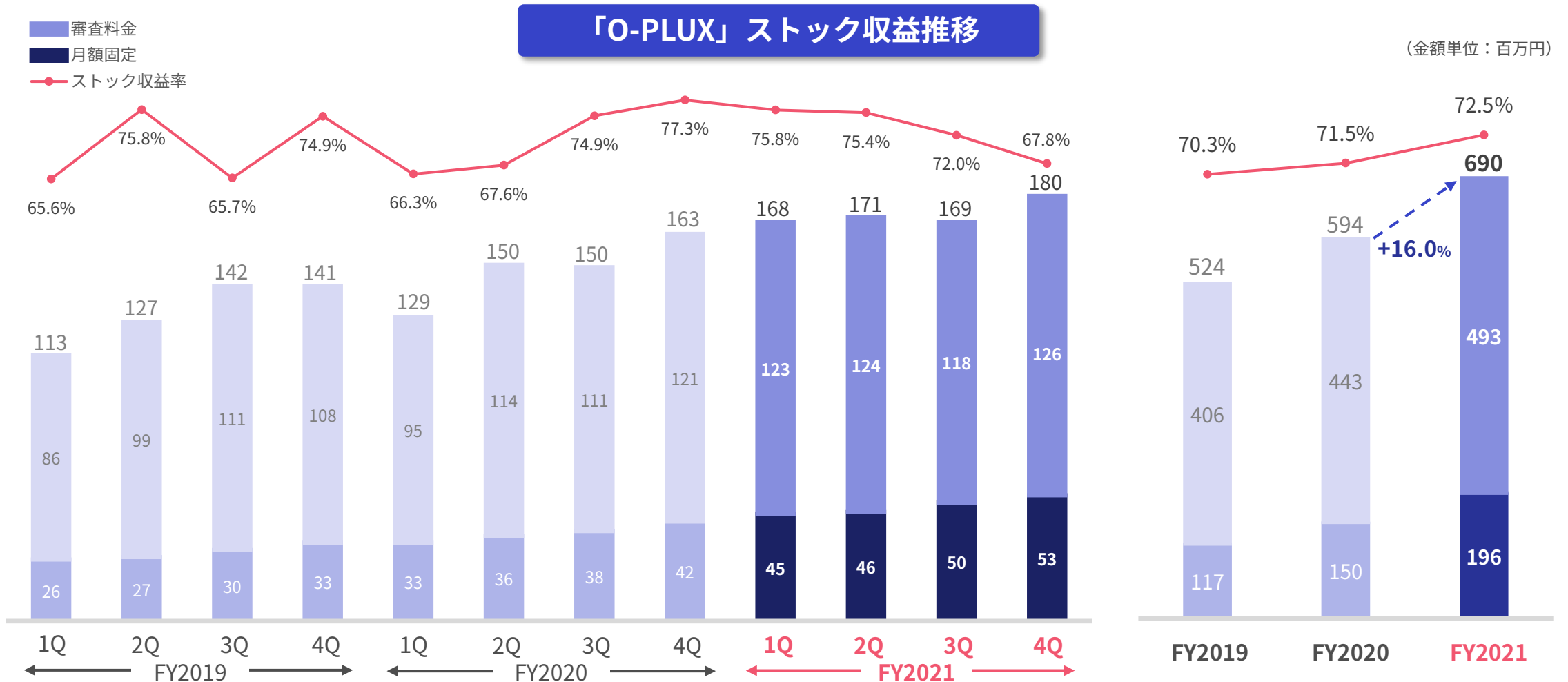


2021年12月期 通期業績・「O-PLUX」のストック収益の推移



「O-PLUX」のストック収益は前年比+16.0%に拡大し、ストック収益率は72.5%（前年比+1.0pt）に向上。

- ストック収益率の四半期推移は、決済コンサルティングサービスの収益拡大により低下傾向にあるものの、ストック収益額自体は着実に成長を継続。



※ストック収益＝定額課金である月額料金＋審査件数に応じた従量課金である審査料金（初期導入料金等のスポット収益は含まれておりません）

※ストック収益率＝ストック収益÷売上高（全サービス合計）

※スポット収益＝ストック収益以外の収益

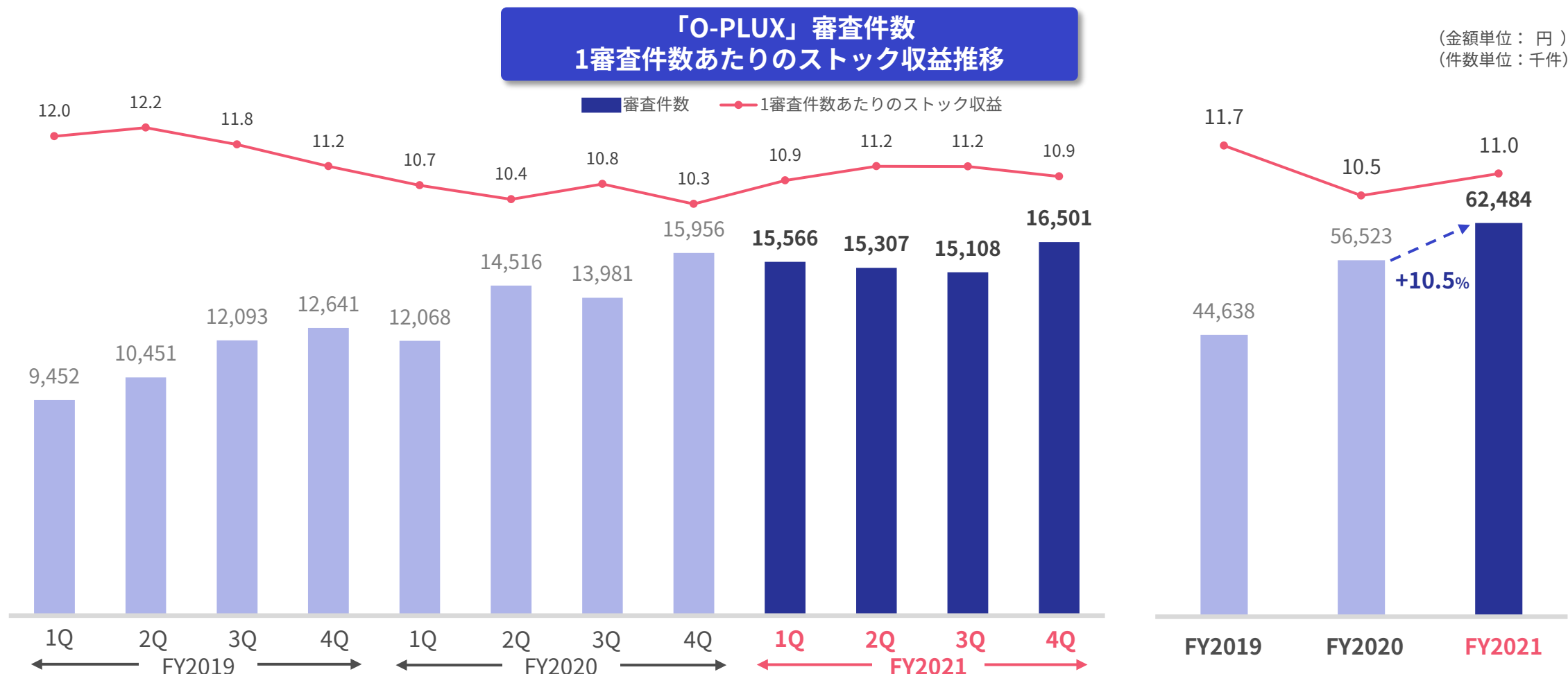
(C) Cacco Inc. All Rights Reserved.

2021年12月期 通期業績・「O-PLUX」の審査件数の推移



「O-PLUX」の審査件数は、**前年比+10.5%**に拡大。

- 審査件数の四半期推移は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により上下動があったものの、全四半期で前年同期を上回っており、着実に拡大を継続。



※ストック収益=定額課金である月額料金+審査件数に応じた従量課金である審査料金 (初期導入料金等のスポット収益は含まれておりません)
 ※スポット収益=ストック収益以外の収益

2021年12月期 通期業績・貸借対照表



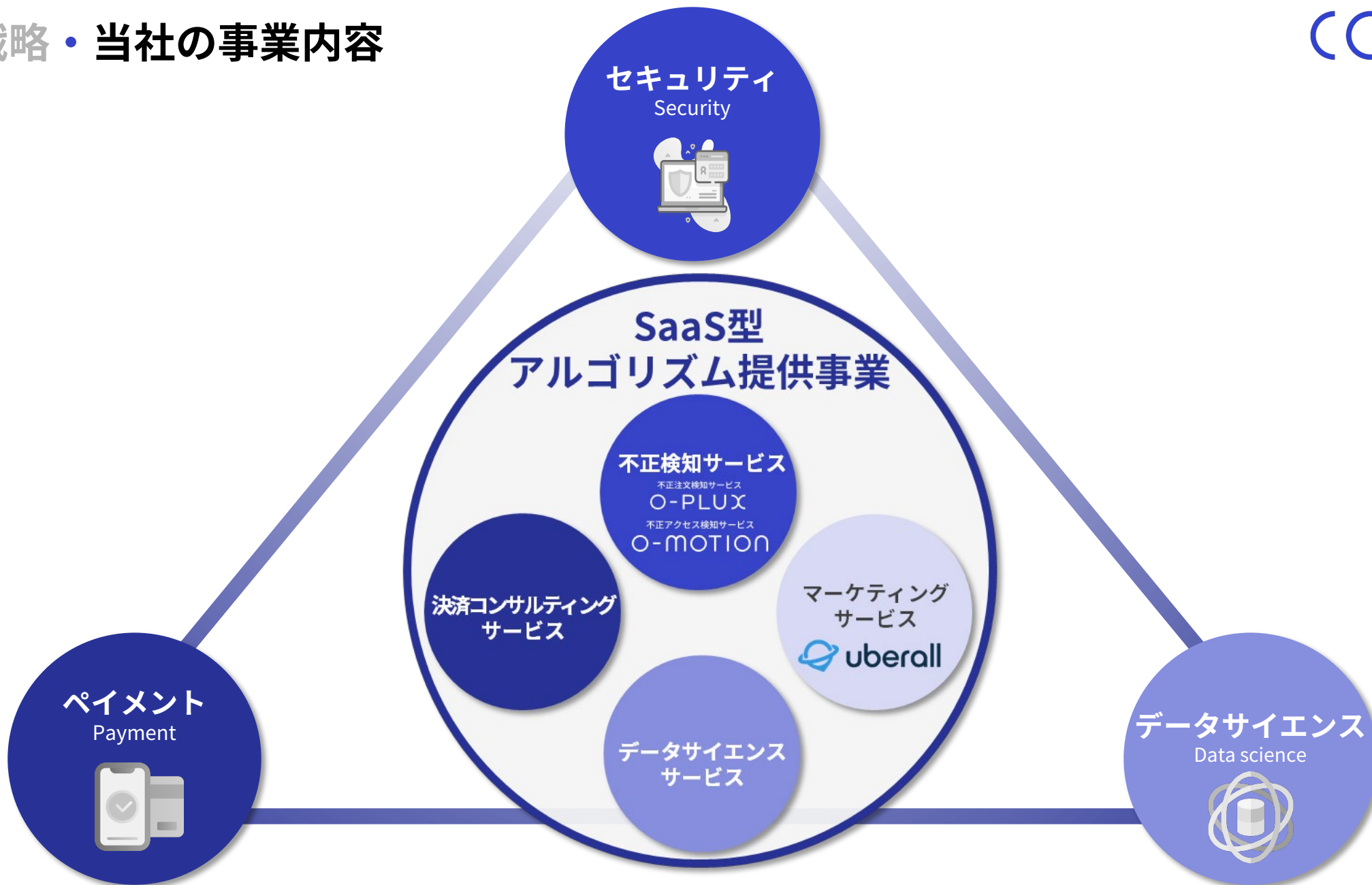
(金額単位：百万円)

| | FY2020 (実績) | FY2021 (実績) | 増減率 | 主な要因 |
|-----------|----------------|----------------|---------|------------------------|
| 流動資産 | 1,402 | 944 | ▲32.7% | 現金及び預金の減少 |
| (現 預 金) | 1,293 | 800 | ▲38.1% | |
| 固定資産 | 420 | 472 | +12.6% | ソフトウェアの増加、ソフトウェア仮勘定の減少 |
| 総 資 産 | 1,822 | 1,417 | ▲22.2% | |
| 流動負債 | 383 | 142 | ▲62.9% | 借入金及び社債の減少、未払金の減少 |
| 固定負債 | 291 | 1 | ▲99.4% | 借入金及び社債の減少 |
| 純 資 産 | 1,148 | 1,273 | +10.9% | 当期純利益の計上 |
| 自己資本比率 | 62.8% | 89.6% | +26.8pt | |

成長戦略

Growth Strategy





セキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術・ノウハウを活用し、ゲームチェンジャーのさまざまなチャレンジを支援するSaaS型アルゴリズムを開発・提供。

不正検知サービス

不正注文検知サービス

O-PLUX

EC決済、転売などにおける代金未払い等の不正注文をリアルタイムに検知。

不正アクセス検知サービス

O-MOTION

金融機関・会員サイト等における不正アクセス・不正ログインをリアルタイムに検知。

決済コンサルティングサービス

主にBNPL事業者に向けて、決済システムの提供、BNPL事業のコンサルティングを実施。

審査エンジンは「O-PLUX」を使用。

SaaS型BNPLシステム

初期投資のかからないSaaS型で決済システムを提供することで、BNPL市場の更なる開拓を図る。(2022年下期リリース予定)

マーケティングサービス



店舗情報・口コミ情報を統合管理し、ローカル検索表示順位向上による来店数増加等をMEO対策を支援。

データサイエンスサービス

AI・統計・数理最適化の技術を用いたデータ解析及びアルゴリズムの開発・提供。

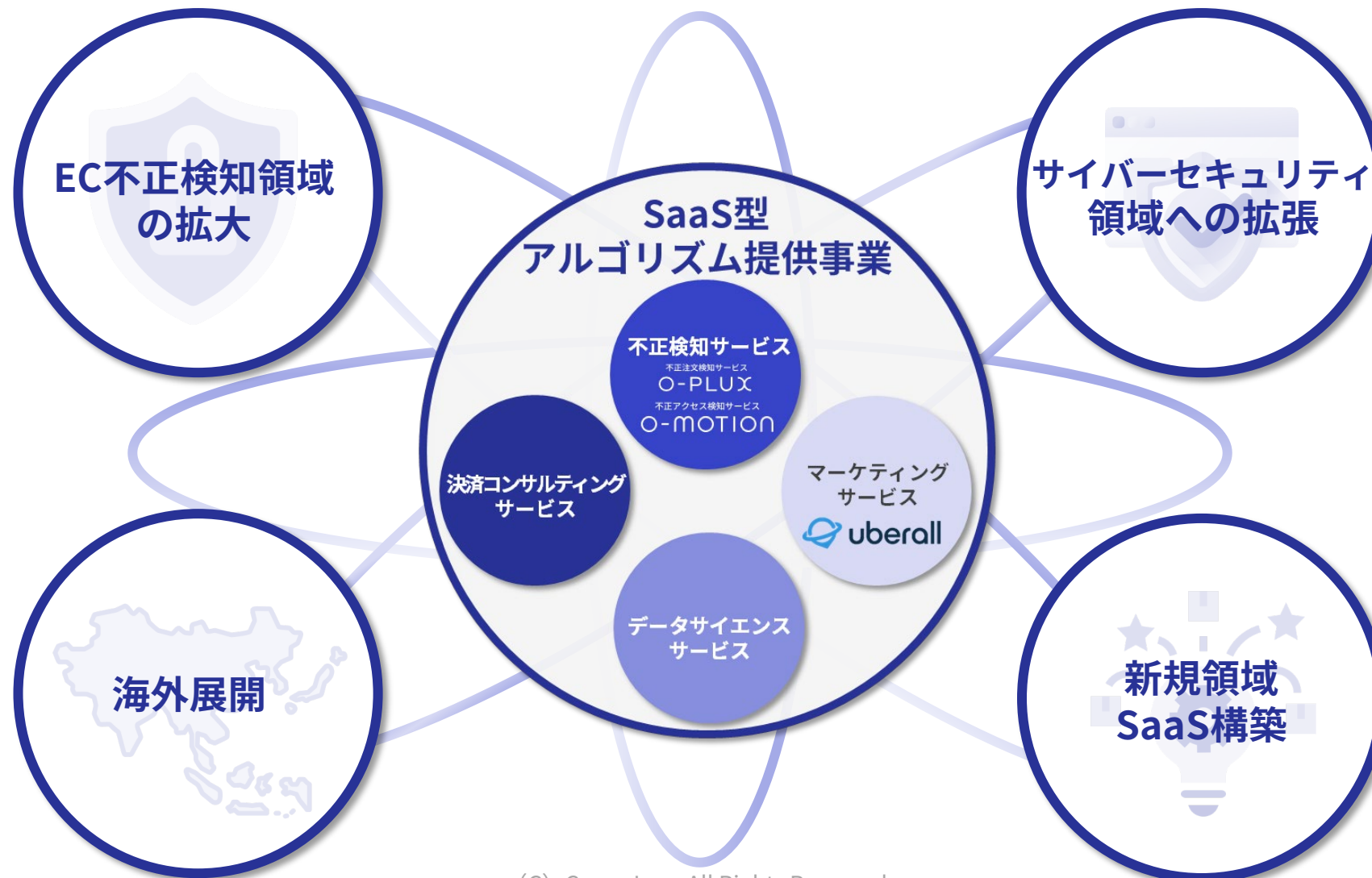
SAKIGAKE KPI

データの集計・可視化から、要因分析、KPI算出、分析報告とその後のご提案まで実施。1億レコードまで、30営業日・200万円で提供するデータ分析サービス。

成長戦略・事業拡大に向けた4つの成長戦略

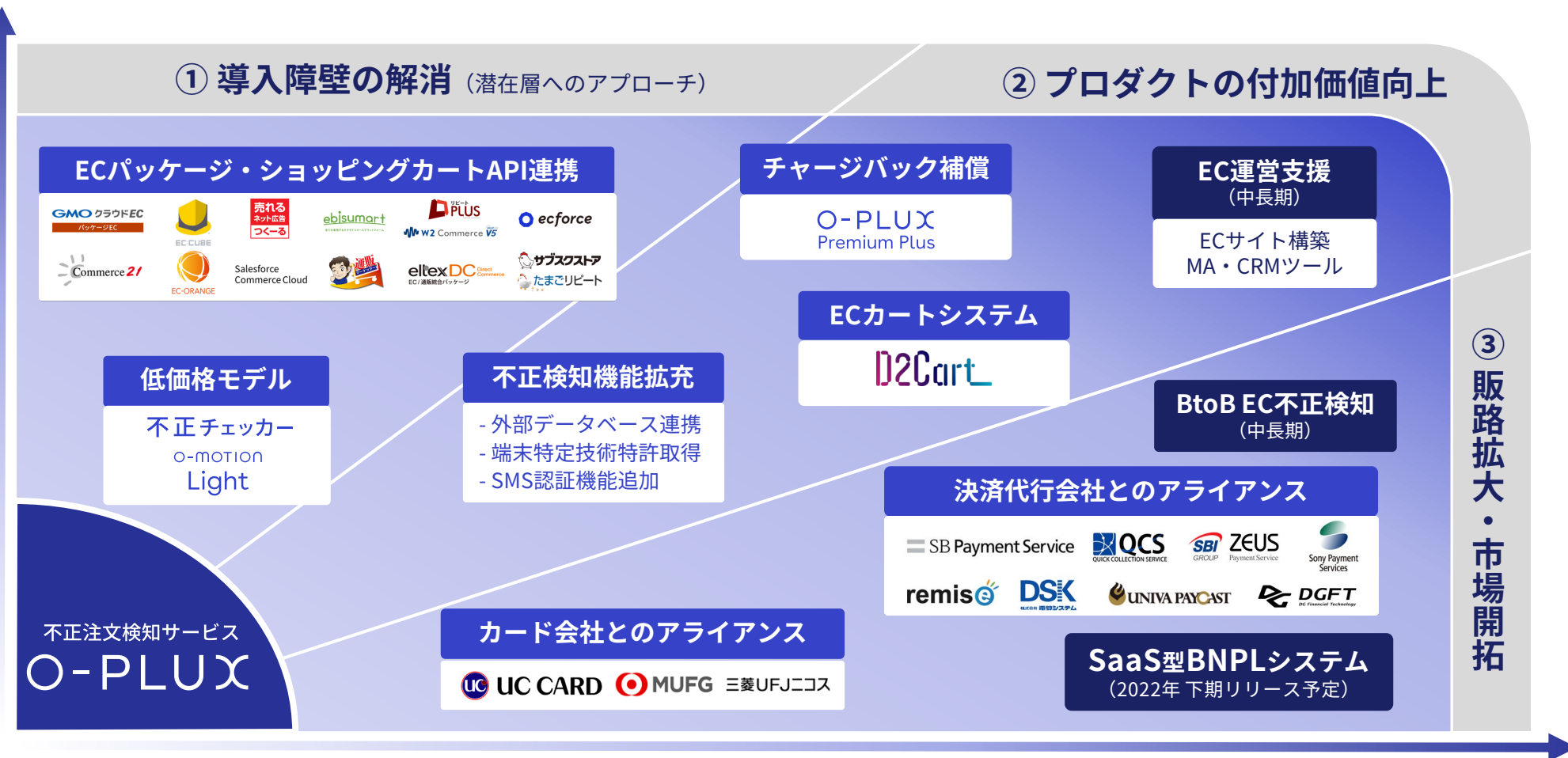


4つの成長戦略により、不正検知サービスを中心に事業拡大を加速し、自ら市場を創出する。





今後、不正被害の社会問題化や規制強化等により、不正検知の需要は確実に拡大するものと想定。
3つの戦略により「O-PLUX」の更なる成長を図る。



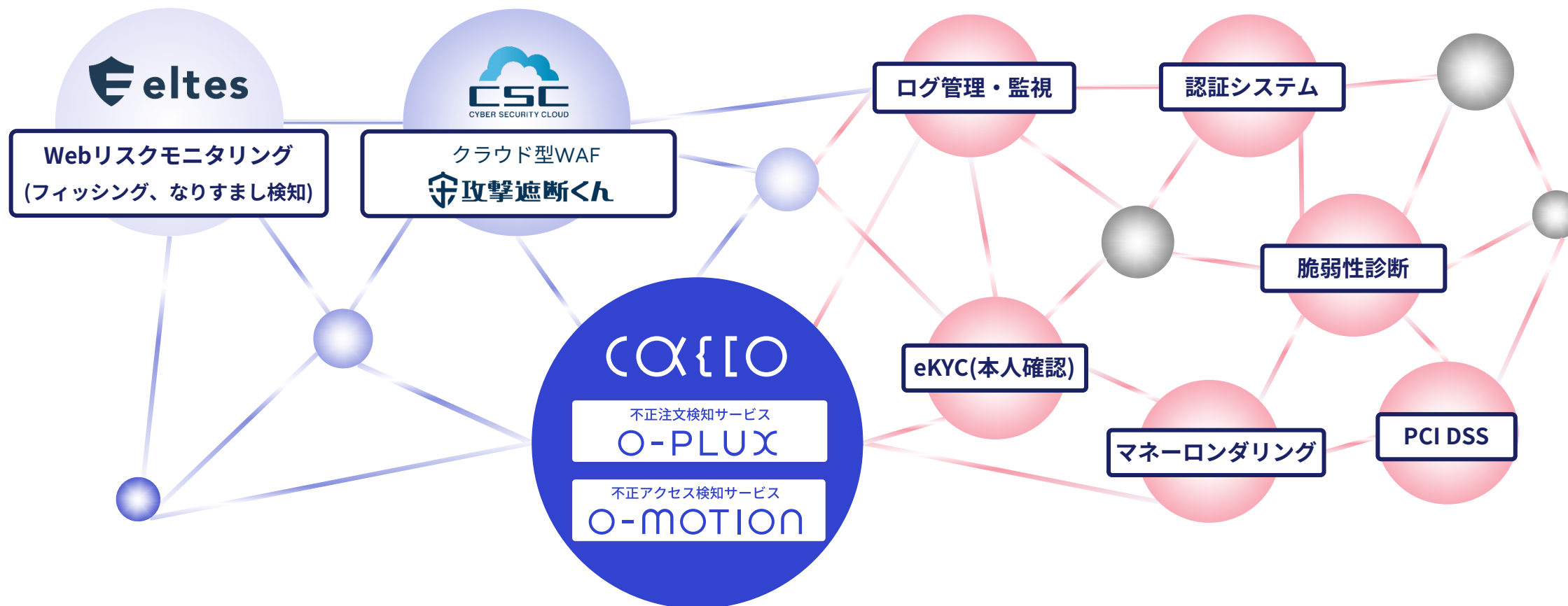
成長戦略・サイバーセキュリティ領域への拡張



FY2021 はサイバーセキュリティクラウド社、エルテス社と提携。
技術開発とともにM&A・アライアンスも視野に入れ、サイバーセキュリティ領域への事業拡張を進める。

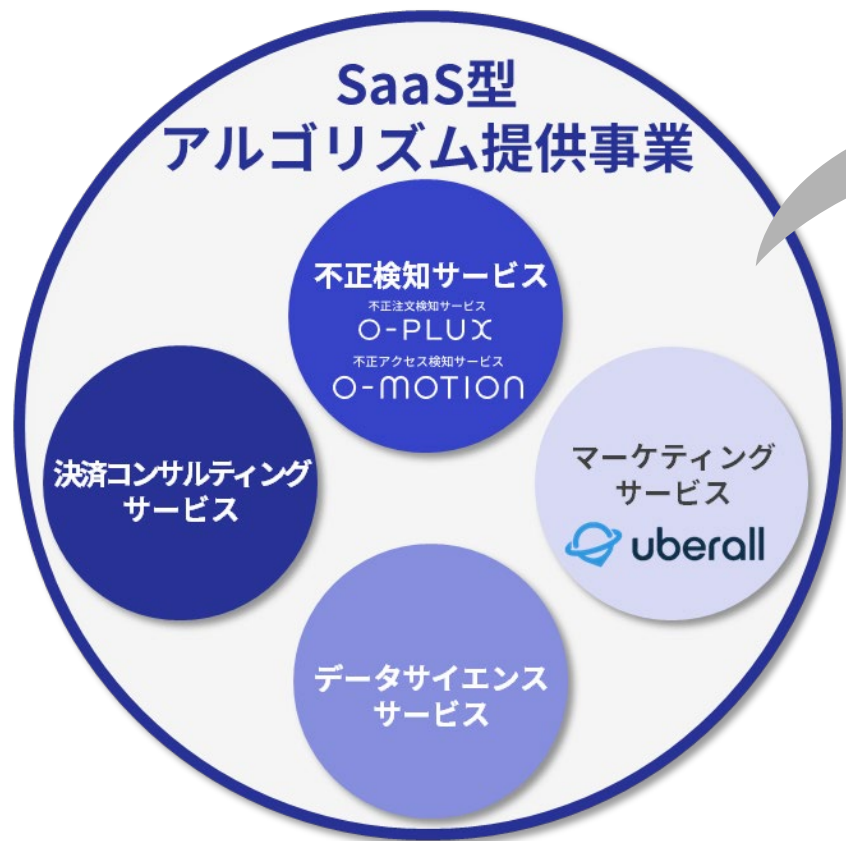
既存アライアンス

新領域





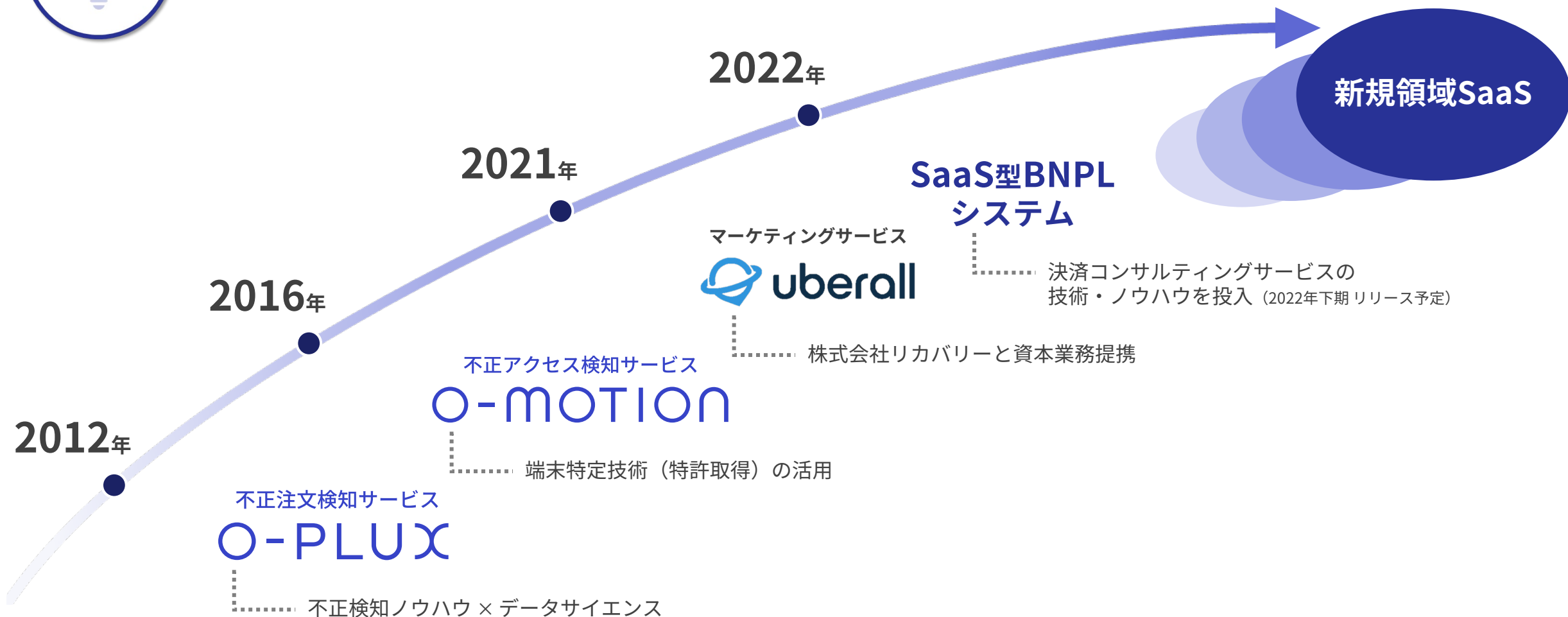
これまで培ってきた当社のサービス・ノウハウを活用し、東南アジアのEC・金融領域に展開を図る。



成長戦略・新規領域のSaaS型サービスの構築



データサイエンスをベースに多様な分野のノウハウを蓄積するとともに、M&A・アライアンスも視野に入れ、新規領域のSaaS型サービスの構築を図る。



成長戦略・今後10年の成長イメージ



社会の変化と経営ビジョンの実現

Cacco Evolutionary Purpose

未来のゲームチェンジャーの「まずやってみよう」をカタチに

高度なリスクコントロールが可能だからこそ
イノベティブなチャレンジが可能に

経営ビジョンの実現

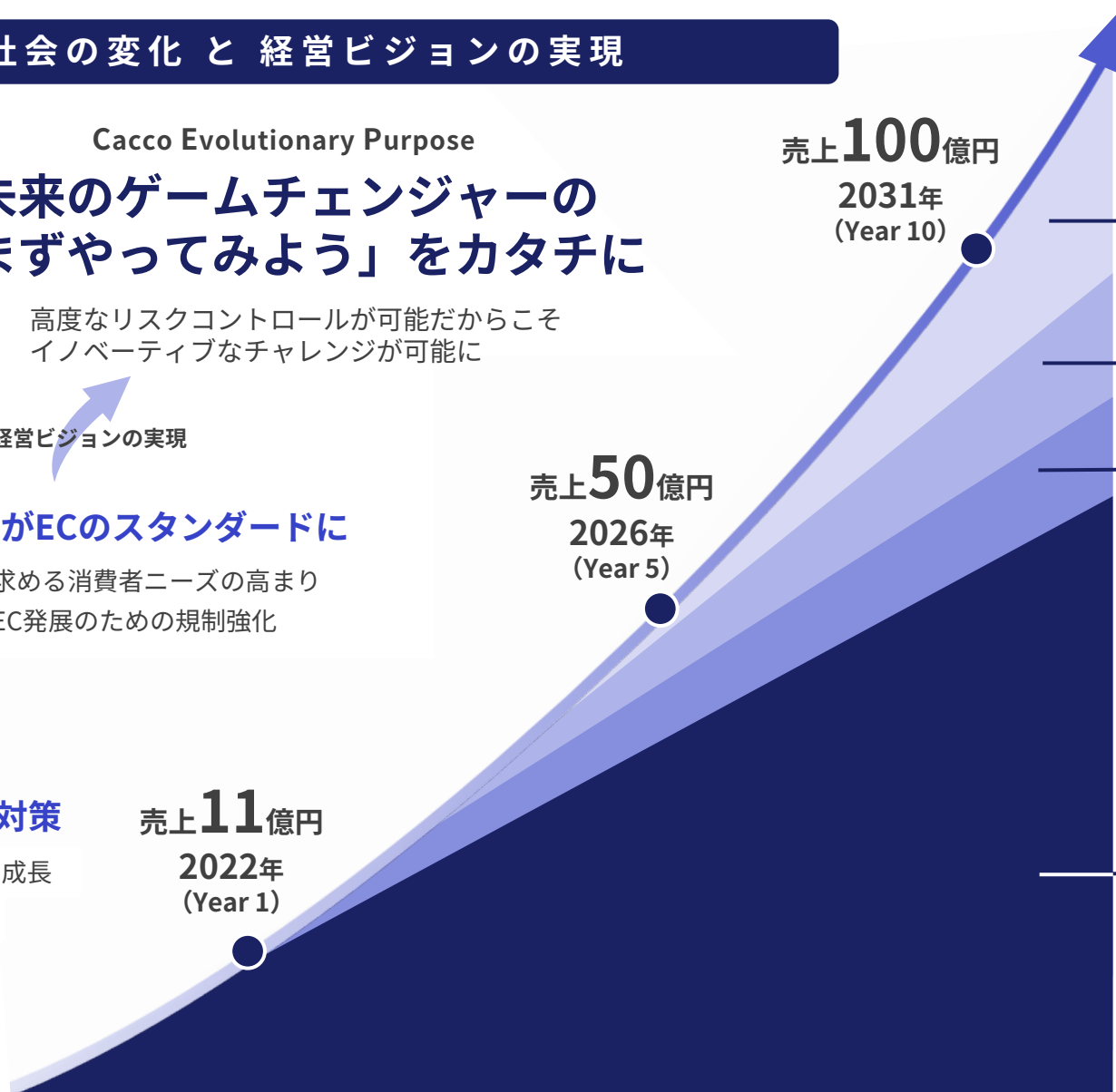
不正対策がECのスタンダードに

- 安全を求める消費者ニーズの高まり
- 健全なEC発展のための規制強化

社会の変化

顕在被害のみを対策

- EC市場の持続的な成長
- 不正被害の急増



4つの成長戦略



データサイエンスをベースに
多様な分野のナレッジを蓄積し
新規領域のSaaSを構築



当社のサービス・ノウハウを
東南アジアに展開

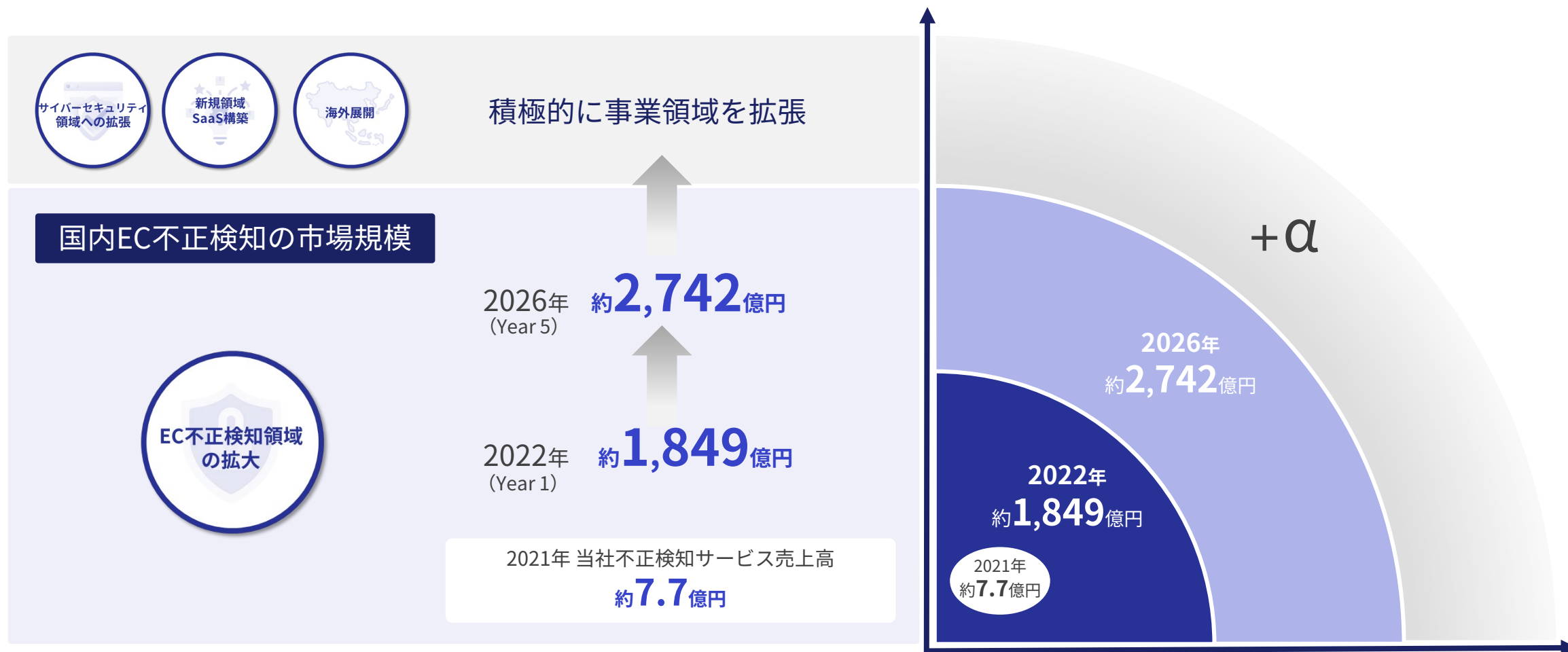


技術開発とアライアンスで
サイバーセキュリティ領域
を拡張



- ① 導入障壁の解消
- ② プロダクトの付加価値向上
- ③ 販路拡大・市場開拓

拡大が見込まれる国内EC不正検知領域を主軸としながら、積極的に事業領域を拡張していくことで、更に大きな市場で事業を展開していく。



出典：「FRAUD DETECTION AND PREVENTION Global Market Trajectory & Analytics GLOBAL INDUSTRY ANALYSTS.INC. 2021年5月」（1ドル=110円で計算）

2022年12月期 通期業績見通し

Forecast Financial Results of the Fiscal Year
Ending December 31, 2022



2022年12月期 通期業績見通し・サマリー



(金額単位：百万円)

| | FY2021 実績 | FY2022 予想 | 前年比 |
|----------------|--------------|--------------|--------|
| 売上高 | 951 | 1,102 | +15.9% |
| (不正検知サービス売上高) | 773 | 875 | +13.2% |
| 営業利益 | 178 | 191 | +7.1% |
| (営業利益率) | 18.8% | 17.4% | ▲1.4pt |
| 経常利益 | 170 | 195 | +14.5% |
| (経常利益率) | 18.0% | 17.7% | ▲0.2pt |
| 当期純利益 | 120 | 137 | +14.3% |
| EPS (円) | 45.90円 | 52.28円 | +13.9% |

売上高 前期比 +15.9%

「不正チェッカー」等の新ラインナップの拡販、アライアンスによる販路拡大等により、不正検知サービスは、前期比+13.2%の増収を見込む。

加えて、決済コンサルティングサービス・データサイエンスサービスの収益拡大により、売上高全体としては、前期比+15.9%の増収を見込む。

経常利益 前期比 +14.5%

ソフトウェア（O-PLUXアーキテクチャ刷新・SaaS型BNPLシステム）に係る減価償却費の増加等により利益率は若干低下するものの、収益拡大により経常利益は前期比+14.5%の成長を見込む。

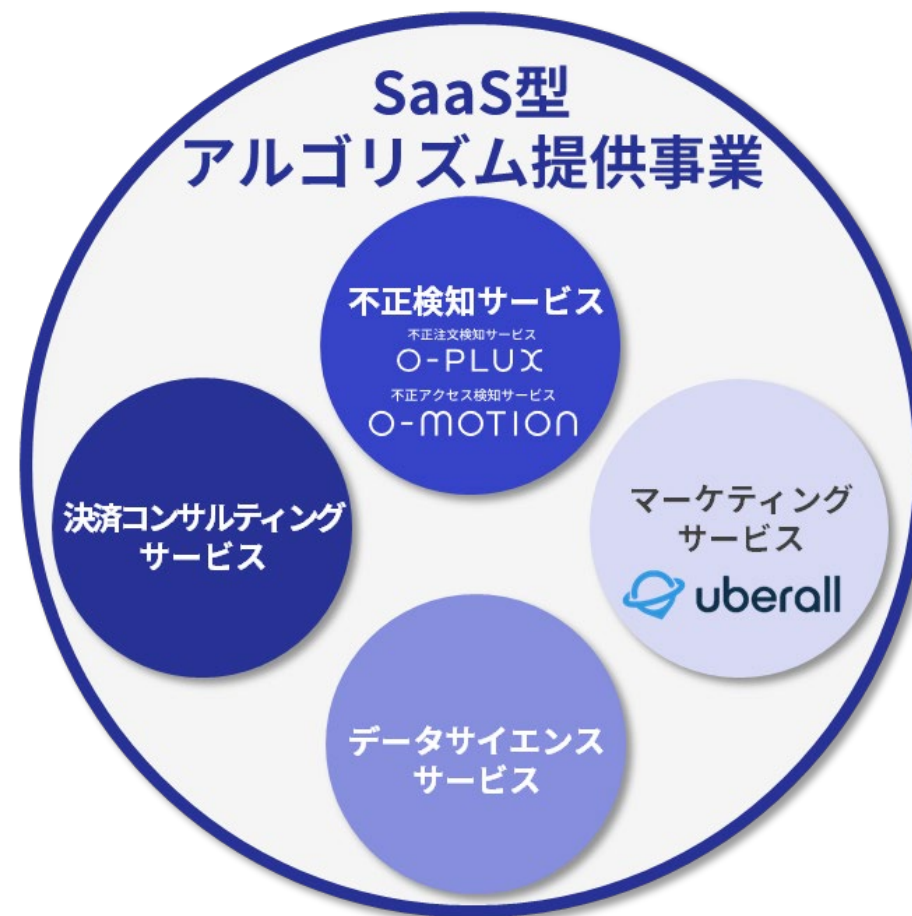
Appendix



| | | |
|-----------|--|---|
| 社名 | | <u>かっこ株式会社</u> (Cacco Inc.) |
| 代表者 | | 代表取締役社長CEO 岩井 裕之 |
| 事業内容 | | SaaS型アルゴリズム提供事業 (不正検知サービス、マーケティングサービス、決済コンサルティングサービス、データサイエンスサービス) |
| 資本金 | | 364,548,235円 ※2022年1月31日時点 |
| 上場市場 | | 東京証券取引所マザーズ市場 (証券コード 4166) |
| 設立 | | 2011年1月28日 |
| 住所・TEL | | 東京都港区元赤坂一丁目5番31号 TEL : 03-6447-4534 |
| 特許 | | 特許第6534255号・特許第6534256号・特許第6860156号 |
| 認証 | | ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 登録番号 : IA120255 プライバシーマーク® 第10824248 (04) 号 |
| 持分法適用関連会社 | | <u>株式会社リカバリー</u> (ローカル検索マーケティングソリューション「Uberall」の日本統括代理店) |

沿革

- 2011 1月 創業
(不正対策コンサルティング)
- 11月 決済コンサルティングサービス開始
(BNPL※事業者の決済システム開発・コンサルティング)
- 2012 6月 不正注文検知サービス「O-PLUX」リリース
- 2015 1月 データサイエンスサービス開始
(小売・製造業等のデータ解析・アルゴリズム開発)
- 2016 7月 不正アクセス検知サービス「O-MOTION」リリース
- 2020 12月 東証マザーズ上場
- 2021 8月 マーケティングサービスに参入
(株式会社リカバリーと資本業務提携)



※BNPL：Buy Now Pay Laterの略。後払い決済のこと。

1

データサイエンスに関する知見とセキュリティ領域における高い技術

(取得特許3件：「特許第6534255号」「特許第6534256号」「特許第6860156号」)

2

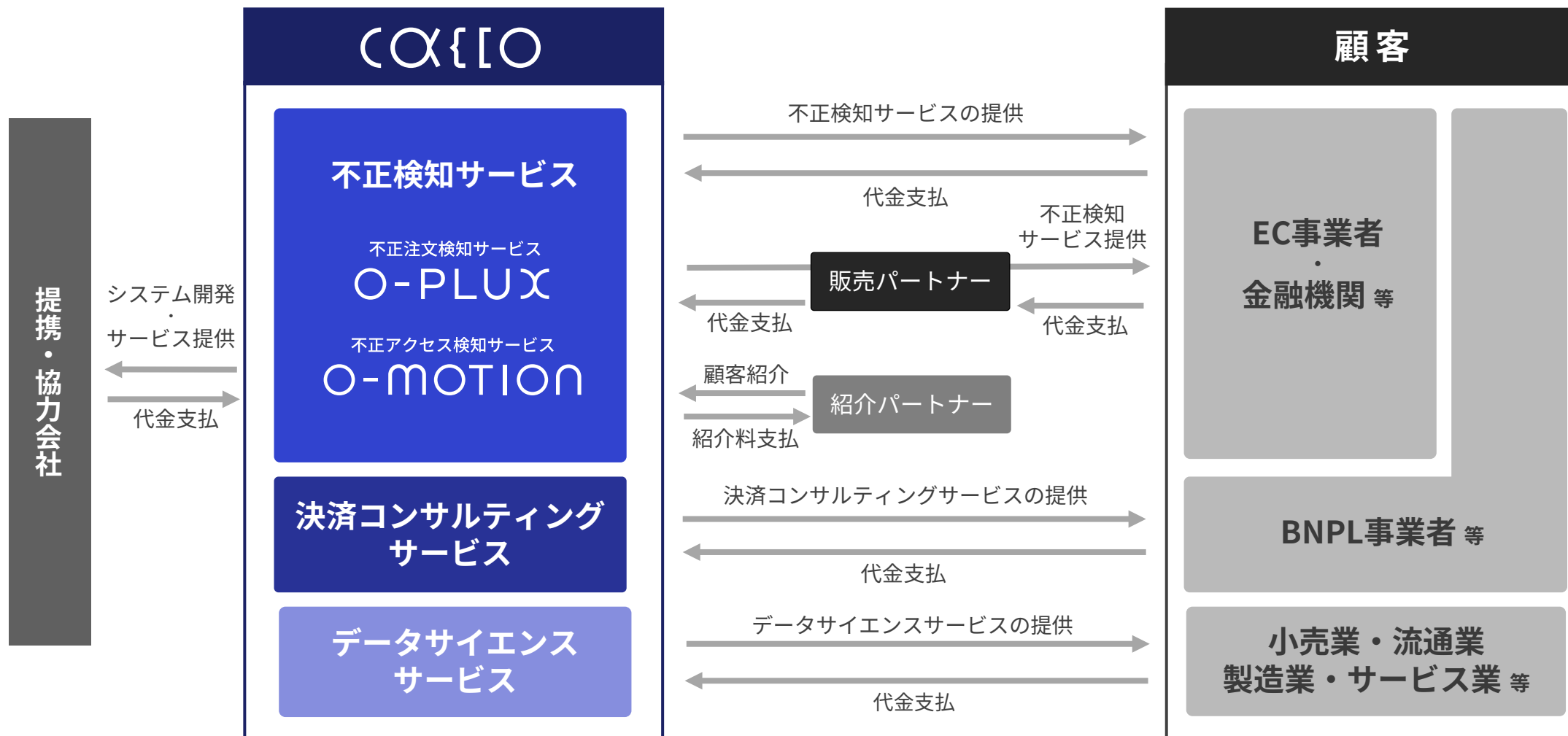
EC領域とペイメント領域における当社サービス導入数国内No.1の実績

(株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点)

3

中核サービスであるO-PLUXの利用拡大によるストック収益の堅調な成長

(FY2021の当社売上高全体に占める**ストック収益の割合は72.5%**)

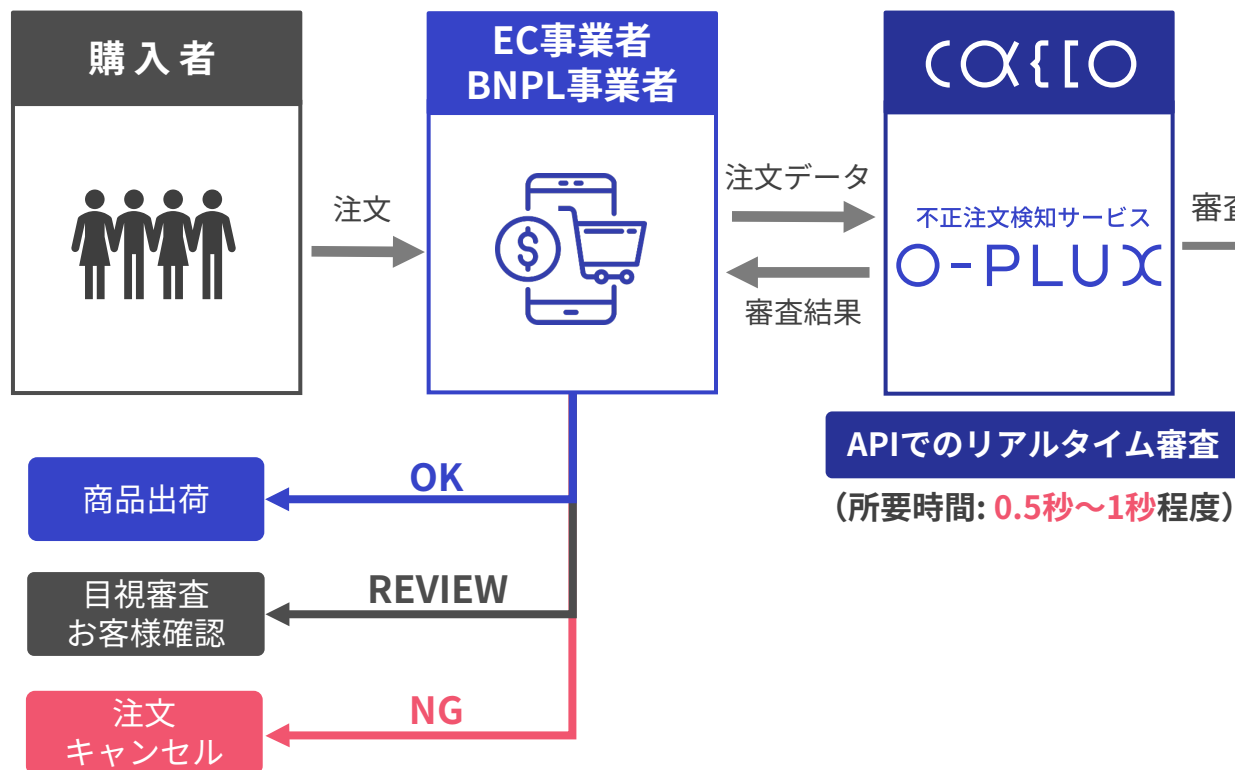


Appendix・不正注文検知サービス「O-PLUX」の概要



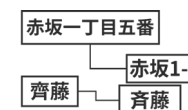
ECにおける代金未払い等の不正注文を独自の審査モデルでリアルタイムに検知するSaaS型サービス

審査の流れ



主な審査機能

名寄せ処理



表記の異なる同一住所や姓名を正規化処理して活用
ex: 赤坂4丁目3番地2号
赤坂4-3-2

デバイス情報



- IP、cookieによる同一視判定
- 海外からのアクセス判定
- 言語設定、タイムゾーンによる外国人のなりすまし判定 etc...

外部DB連携



- 空室の判定 (ウィークリーマンション・ホテルの判定)
- 海外転送サービスの判定
- 電話番号疎通の判定 etc...

行動分析



短期間の大量購入やなりすましなど、不正者に顕著な情報や行動パターンを分析して検知

共有ネガティブ



利用企業で共有されているネガティブデータベースとの一致を判定

製品における差別化要因

1

国内不正注文データの大量保有による
高い不正検知精度 ※導入数国内No.1の実績

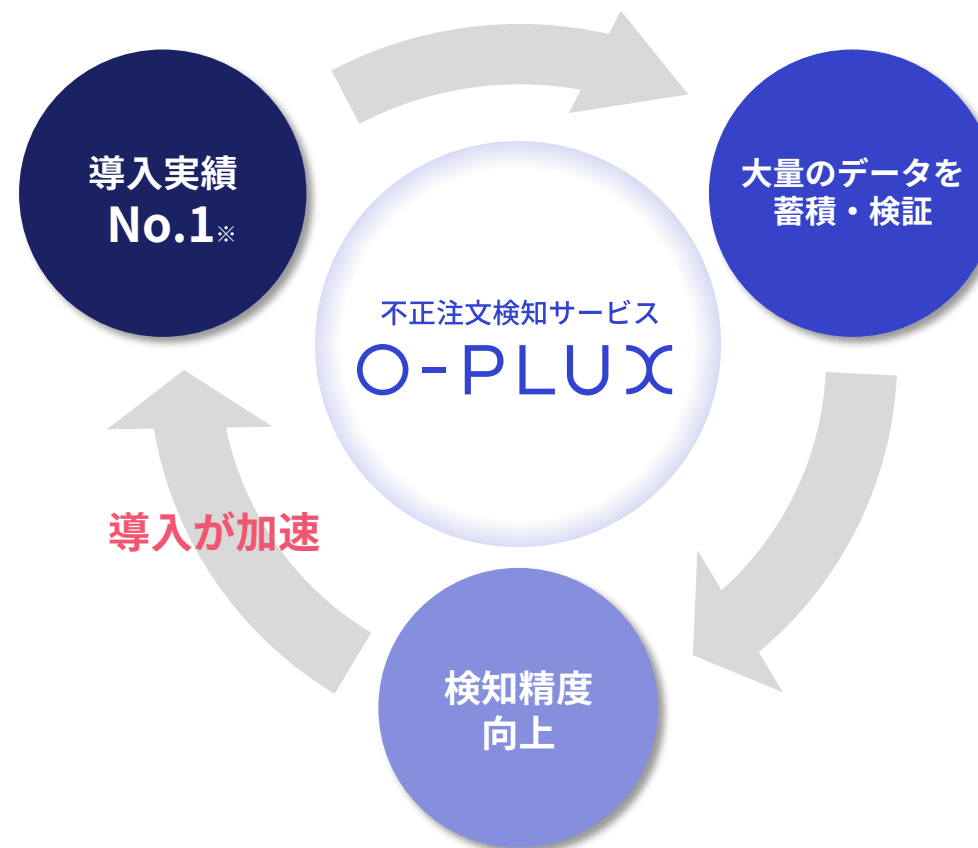
2

データサイエンス・セキュリティの技術
とノウハウで独自の検知モデルを構築

3

国内製品・自社製品ならではのスピーディ
かつ柔軟なモニタリング&サポート体制

競合優位性が維持される好循環サイクル



※ 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点



従量課金と定額課金を合算した**ストック収益**が、売上高全体の**約7割**を占める安定的な収益構造。
 さらに、従量課金により、**EC市場・BNPL市場の拡大**に伴うアップサイドポテンシャルを享受可能。

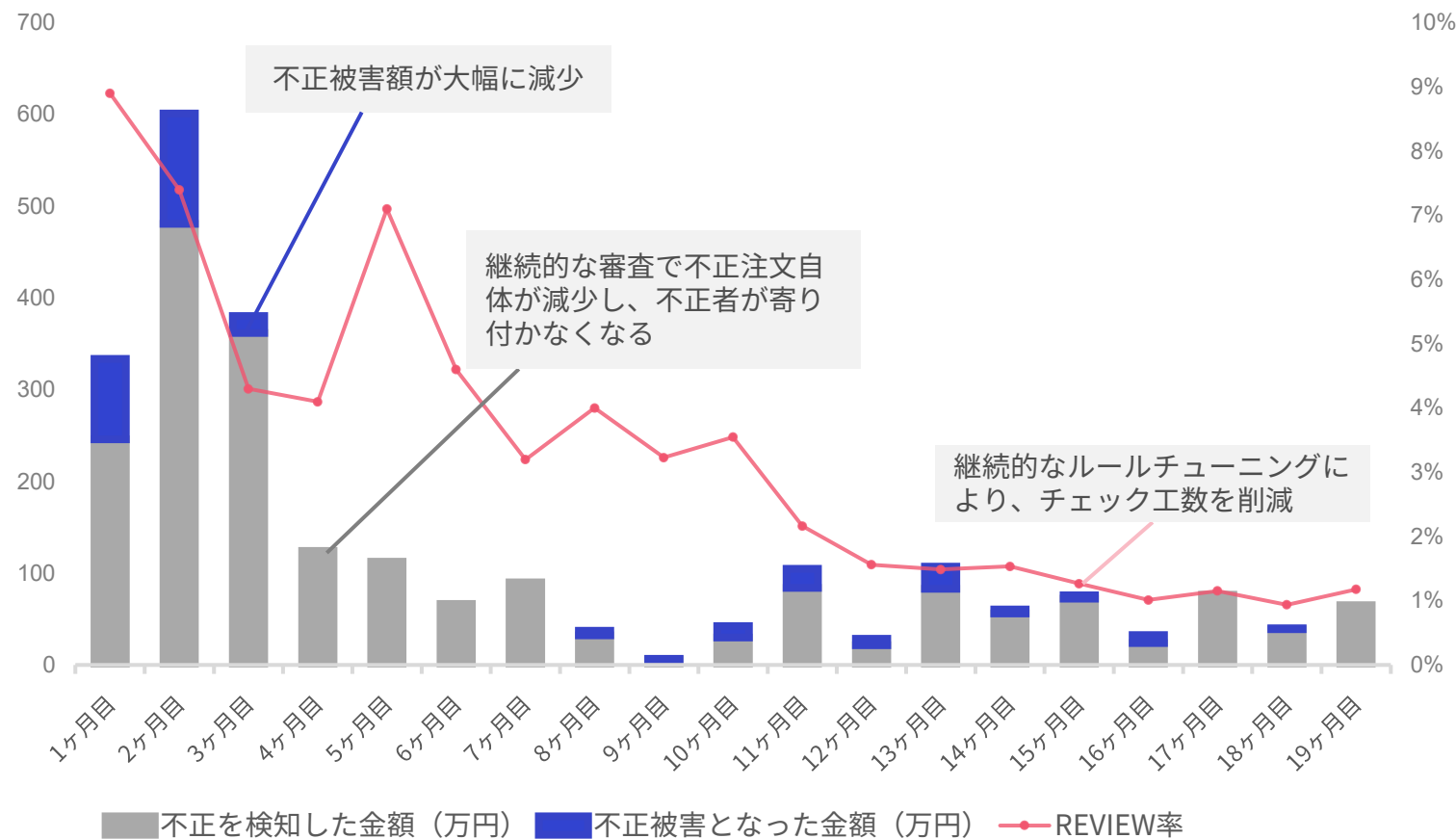
「O-PLUX」のストック収益が伸びる3つの要素





「O-PLUX」によってECにおけるクレジットカードの不正利用を5年間累計で約2.5億円検知

| 総合小売業 | |
|-------|---|
| 年間流通額 | 年間 70 億円 |
| 顧客の課題 | ECにおけるクレジットカードの不正利用 (最大1,000万円/月) |
| 成果 | 導入初年度 1億円の不正利用を検知 約5年間のご利用期間で 累計 約 2.5億円 を検知 |



※不正を検知した金額とは、審査結果「NG」または審査結果「REVIEW」でカード属性の不一致、出荷前の本人確認等によりチャージバックとなる前に不正確定（ネガティブ登録）された取引の合計金額となります。
 ※REVIEW率とは、審査件数全体に対する審査結果「REVIEW」の件数の割合となります。

Appendix ・ 不正注文検知サービス「O-PLUX」 | 導入企業



「O-PLUX」は、様々な業界に導入が進んでおり国内導入数No.1を獲得※1。
不正注文被害を未然に防ぐことで、電子商取引（eコマース）の安全なインフラ構築を推進。



| ホビー | 食品・健康食品 | | | PC・タブレット | | |
|----------|---------|-----------------------|-----|----------|--|--|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| コスメ・ヘアケア | アパレル | ホスティング | DIY | 旅行 | | |
| 映像・音響機器 | | ネットショッピングモール・MVNO・その他 | | | | |
| | | | | | | |

※1 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点

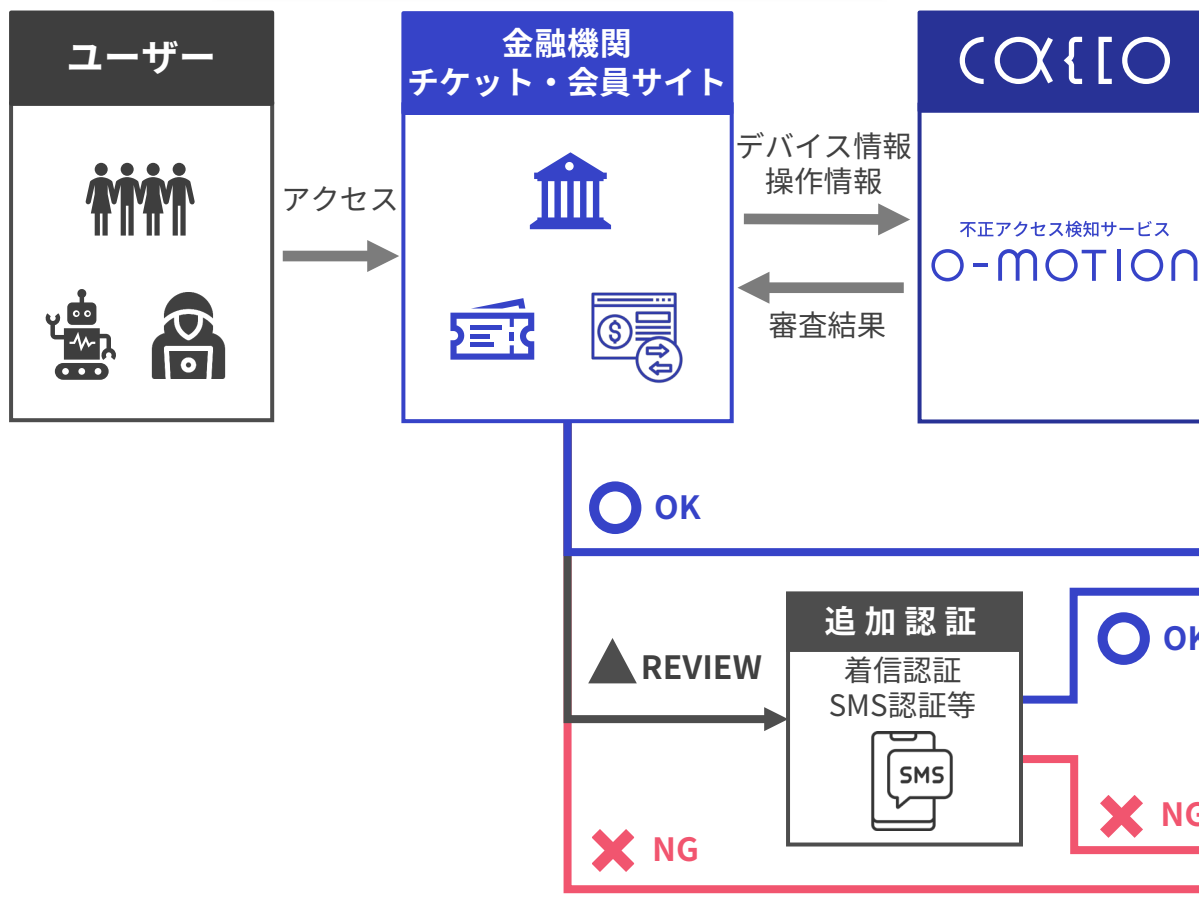
※2 掲載許諾を得た一部の企業のみ掲載 2022年1月末日時点

Appendix ・ 不正アクセス検知サービス「O-MOTION」



WEBサイトにアクセスしたユーザーの操作情報、デバイス情報等をリアルタイムに分析。
他人のなりすましを識別し、不正アクセスから生じる不正行為(個人情報漏洩・不正購入etc.)を防止。

審査の流れ



主な審査機能

● 端末特定技術



User Agent、Cookie等を用いた従来型の検知では判別しきれなかった不正も判定・検知。

● 操作情報



ユーザー操作から不正傾向を判定し、自動プログラム (Bot) によるアクセスも検知。

● ホワイト・ブラックリスト管理



ホワイト/ブラックリストを容易に管理が可能。

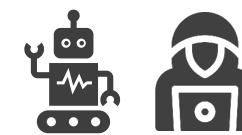
アクセスOK



正常ユーザー

正常なアクセスに対しては、煩わしい認証作業を求めることなく、不正アクセス対策が可能

遮断



プログラム 不正者

アーキテクチャ刷新を活かした新規ラインナップを投入することで、潜在顧客のニーズに柔軟に対応し、新規顧客層の開拓・シェア拡大を図る。

不正チェッカー

不正注文検知

「O-PLUX」の一部機能を**業界最安値**※1で提供。未だ小規模のネット通販事業者、現状大きな被害が発生しておらず、今後の被害拡大への備えを必要としている事業者向け。

月額基本料金

4,000円～

(1,000件分の審査費用を含む)

O-MOTION Light

不正アクセス検知

自動プログラム（Bot）による総当たり攻撃や他人のID・パスワードを使った不正者のなりすましを検知。

月額基本料金

10万円～

(アクセス数の上限あり)

O-PLUX Premium Plus

不正注文検知
+
チャージバック
補償

クレジットカードの不正利用被害が発生した場合、**上限なしでその被害額を補償**。（出荷判断代行サービス）

月額基本料金

10万円～

※1 2022年1月末日時点当社調べ

今後もパートナー契約・アライアンス提携を進め、導入障壁の解消、販路拡大によりシェア拡大を図る。

ECパッケージ・ショッピングカート

カード会社



決済代行会社 (PSP)

セキュリティサービスベンダー



※1 EC-CUBEは株式会社イーシーキューブの商標です。
 ※2 2022年2月10日時点。

MEO対策・ローカル検索最適化ソリューション「Uberall」の日本総括代理店である株式会社リカバリーと資本業務提携。マーケティング領域のSaaS事業へ参入。

MEOに必要な管理はすべて「Uberall」で — 世界135万以上の店舗が利用中 —

uberall (ウーバーオール)

Googleビジネスプロフィールだけでなく、Facebook・Instagramなど125以上のメディア、自社サイトまですべての店舗情報を一括管理できるクラウドシステム。

135万店舗で利用

世界中の飲食店・小売店が利用！

125超のSNSやMAP

などのプラットフォームと連携！

Google推奨パートナー

だから全ての最新機能を活用可能！



全ての店舗情報を一元管理

全てのメディアの店舗情報を一元管理出来る為、大幅に作業を効率化。



サイテーション効果抜群

多くのSNSメディアと店舗情報が同期され、表示順位の向上が見込める。



クチコミ把握、返信が簡単

全てのクチコミを把握でき、効率的に返信対応が可能。



自社サイトも管理・対策可能

自社サイトも一元管理。構造化データの自動生成で上位表示にも効果。



徹底的に伴走します

世界標準のMEOメソッドを提供することで、自社運用をバックアップ。

BNPLの構築・立上げについて、サービス構築、決済システム開発、運用サポートまでワンストップで支援。
審査エンジンは不正注文検知サービス「O-PLUX」を提供。



Point 1

複数のBNPL事業の立ち上げ・システム開発の実績

- ・ 月間取引件数が数百万件規模の決済システムに関する構築実績
- ・ BNPL事業立ち上げのサポート実績（事業計画、各種要件定義作成など）
- ・ 事業開始後のサポート実績（与信、運用構築など）

Point 2

BNPLの運用経験があるコンサルタントによるサポート

BNPLの運用経験豊富なコンサルタントが、お客様の視点に立って最適な提案を実施。

Point 3

国内導入数No.1※の「O-PLUX」による不正注文検知

当社は、シビアな精度が求められる金融・決済分野で不正検知の実績をあげてきました。不正注文検知サービス「O-PLUX」は国内導入数No.1※を獲得しています。

No.1

2021年 導入実績

※2021年5月末日時点 (株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」)

AI・統計学・数理最適化の技術をもとに、予測のモデル化や機械学習を適用した自動化など、企業活動の中核に貢献するアルゴリズムを開発・提供。

Our approach

SAKIGAKE KPI



データの集計・可視化から、要因分析、KPI算出、分析報告とその後のご提案まで実施。1億レコードまで、30営業日・200万円で提供するデータ分析サービス。

データサイエンス分室



あたかも自社の一部門の様に、データサイエンス資源を月額契約で活用可能。様々なステージの、あらゆる分析ニーズに応える「データサイエンス分室」構想を実現。

アルゴリズムの開発



人間の経験を超える最適化や、自動処理による生産性向上、需要やリスクの予測など、業務の処理において利益拡大を追求するアルゴリズムの開発。

Case studies

最適化 年商1,190億円の壁材メーカー

1700の製品・12の生産ラインにおける生産計画作成。複雑な条件を守りながら、生産量の最大化や、ロスを最小化する生産順を計画。

年間最大1.3億円コスト削減

統計 AI 年商55億円の文具メーカー

カレンダー、手帳、文具類で利益を最大化できる需要予測と、生産指示のためのアルゴリズム開発。欠品による機会損失を最小化。

販売機会損失70%削減

最適化 コールセンター

翌月の日・時間帯単位での需要を予測し、経営指標、従業員の勤務希望、労働条件といった複数の制約を満たす人員配置計画を自動生成。

年間0.6億円コスト削減

Appendix ・ 日本のEC市場の成長と不正被害の拡大

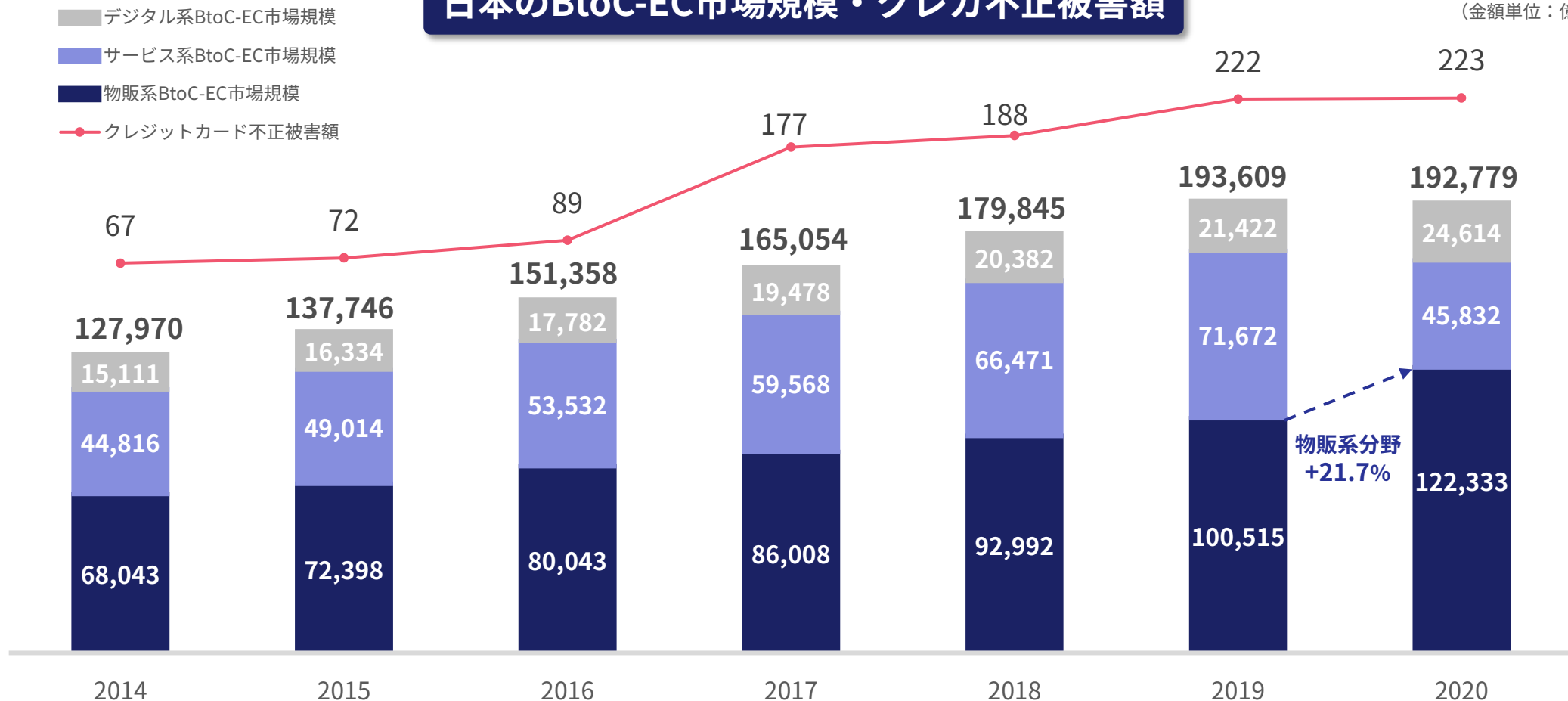


EC市場の成長に比例してクレジットカードの不正被害（番号盗用被害）が拡大。

- 割賦販売法改正、クレジットカードセキュリティ・ガイドラインのアップデート等、不正対策に対する社会的需要が高まっている。

日本のBtoC-EC市場規模・クレカ不正被害額

(金額単位：億円)

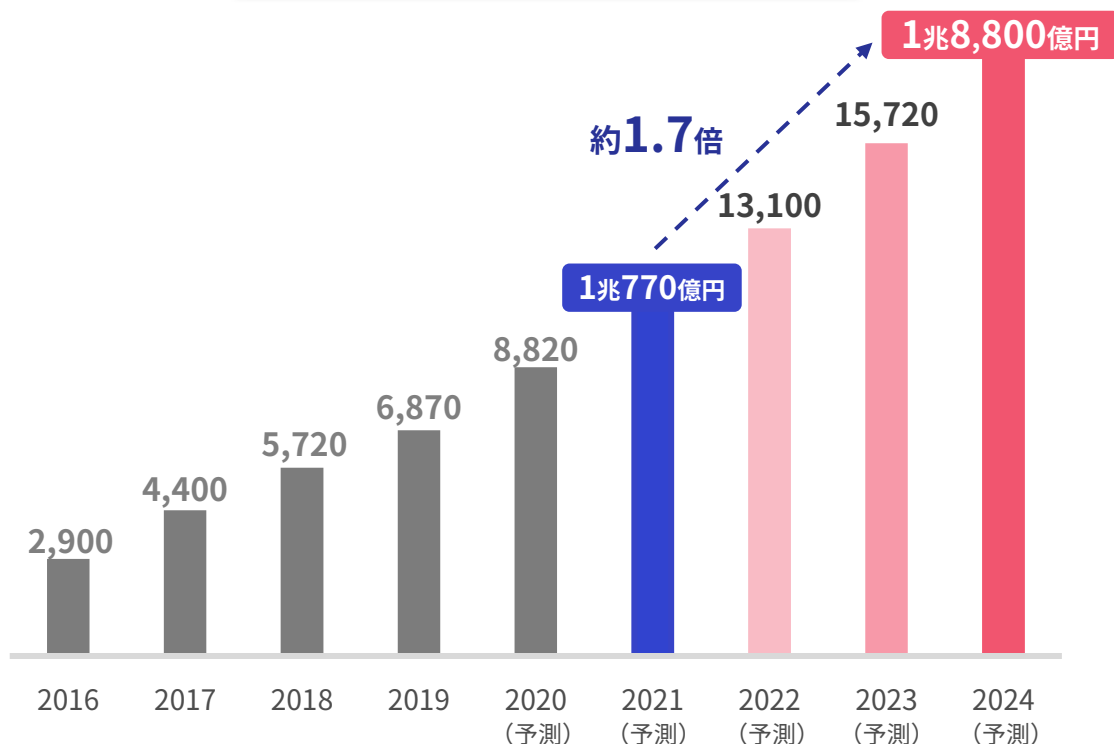


出典：経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「令和2年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」
 一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の発生状況」2021年6月

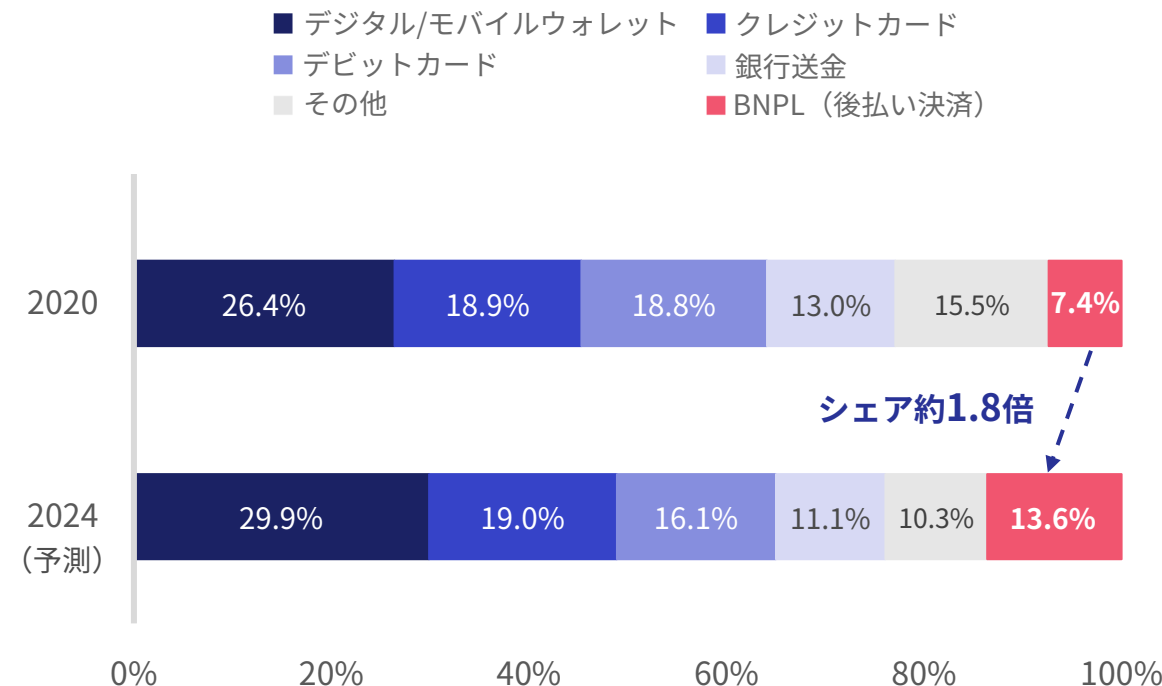
BNPL市場は、国内外で持続的に成長しており、今後も更なる利用拡大が見込まれる。

国内のBNPL市場推移

(金額単位：億円)



北米におけるBNPLの利用率予測



出典：矢野経済研究所「オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 2021年版」

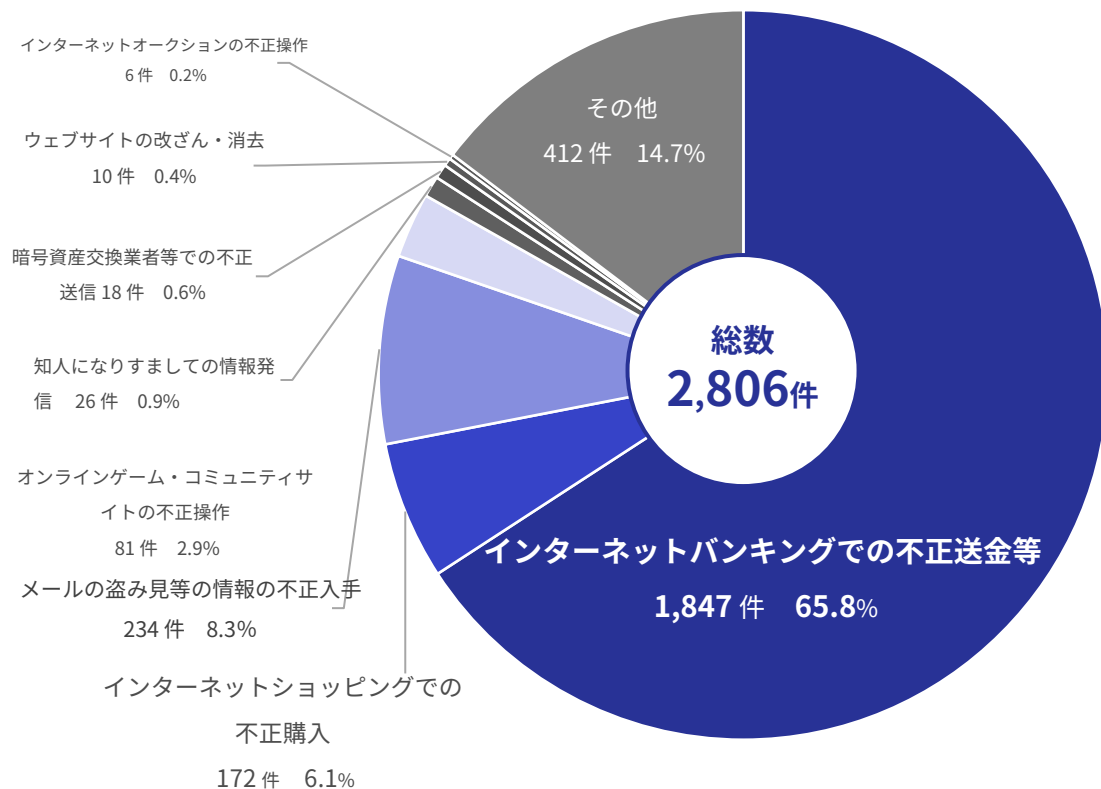
出典：Worldpay「Global Payment Report2021」

Appendix ・ 日本の不正アクセス被害の増加



不正アクセス後に行われる不正行為の7割以上が金融サービス・ECでの不正。
また、不正アクセスによる個人情報漏えい等の情報流出被害も後を絶たない状況。

不正アクセス後に行われた行為（2020年）



不正アクセスによる被害の事例（2021年一部）

| 被害発生時期 | 被害先 | 被害内容 |
|----------|-------------------|---|
| 2021年12月 | 福祉関連団体 | サイバー攻撃が発生し、同団体から書籍を購入したユーザーや会員登録したユーザーのメールアドレス4万1,970件が流出。 |
| 2021年12月 | 医薬品開発企業 | サイバー攻撃により採用応募者や株主情報等約96,000件、社員情報・人事情報約125,000件および臨床試験関連文章や営業データなどの流出した可能性。 |
| 2021年10月 | 暗号資産取引サービス企業 | フィッシング詐欺により、取引所を利用するユーザー6,000名のアカウントが攻撃され不正出金される。 |
| 2021年8月 | 大手EC情報サイト | 情報サイトに登録している読者、サービス契約事業者情報1万3,756件が流出。 |
| 2021年7月 | ドラッグストアECサイト | 不正アクセスにより、クレジットカード情報2万5千件以上が流出した可能性。 |
| 2021年7月 | 大手物流企業 | 不正アクセスにより、800万件以上の個人情報が流出した可能性。 |
| 2021年6月 | 大手新聞社 | キャンペーンサイトに不正アクセスがあり、14万3千件の個人情報が流出した可能性。 |
| 2021年6月 | 大手通信機器会社 会員サイト | 不正アクセスを受け、40万5,576件が流出した。 |
| 2021年3月 | 大手アパレルECサイト | 不正アクセスにより、30万件以上の個人情報が流出の可能性。 |

DX推進による資源多消費型産業モデルからの脱却支援

データサイエンスサービスによるDX支援によって、生産・販売・流通の最適化及び効率化を推進し、資源多消費型産業モデルからの脱却に貢献します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任



コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス体制の強化

当社は、経営の効率化を図ると同時に、経営の健全性、透明性及びコンプライアンスを高めて社会的信頼に添えていくことが、持続的な成長には不可欠であると考えております。その結果が、企業価値を向上させ、株主や債権者、従業員など企業を取り巻くさまざまなステークホルダーへの利益還元につながるの認識に立ち、日々コーポレート・ガバナンスの強化に努めております。

EC・オンライン取引における安全なインフラ構築

不正検知サービスによって、クレジットカードのなりすまし利用や不正アクセスなどの不正行為を検知し、EC・オンライン取引・キャッシュレス決済等の安全なインフラ構築に貢献します。

8 働きがいも経済成長も

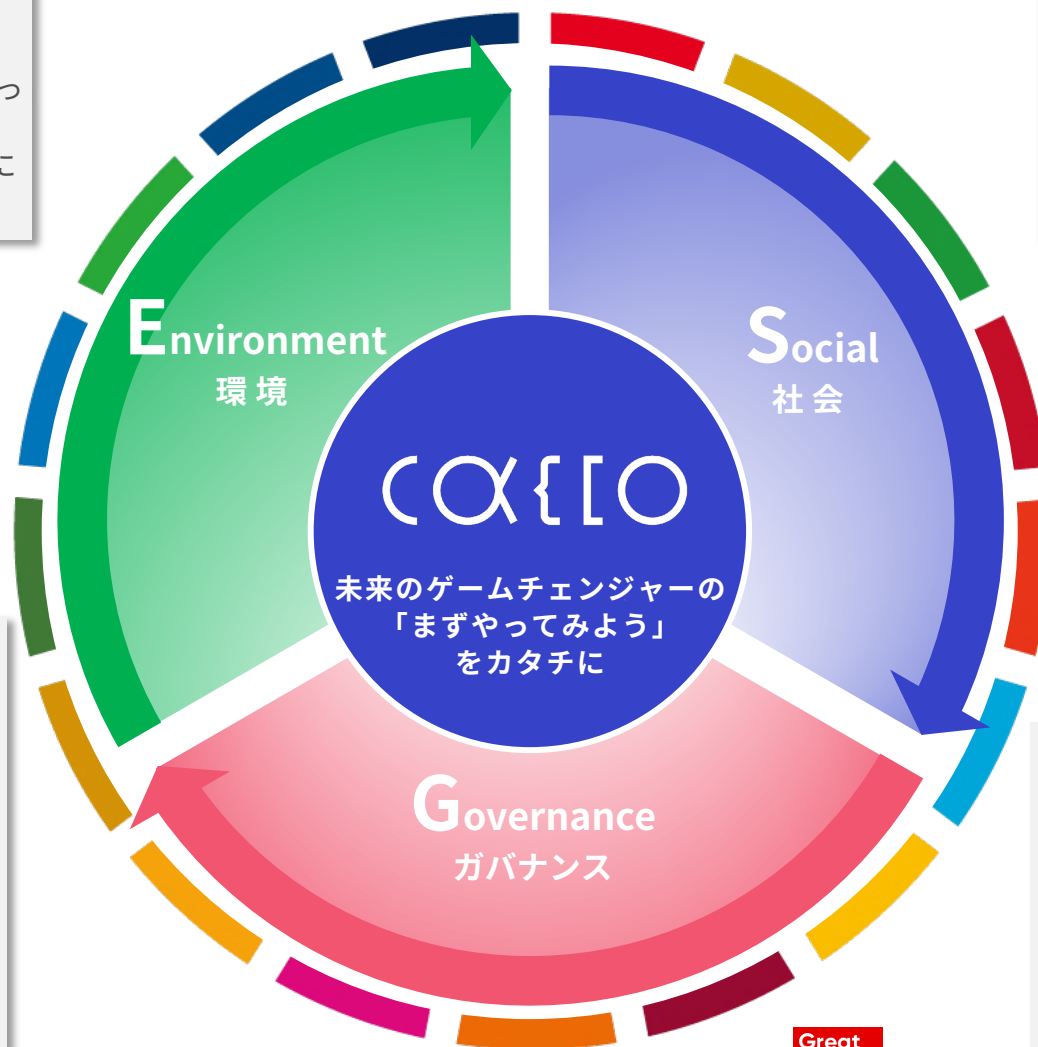
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

5 ジェンダー平等を実現しよう

8 働きがいも経済成長も

多様な人材の活躍を支援 働きがいのある就労環境の整備

外国人、子育て世代の女性、インターン生など多様な人材の活躍を支援するとともに、リモートワーク環境の整備・オンラインコミュニケーションの活性化等の取り組みで「働きがいのある会社」ベストカンパニーに選出されました※。



※(株)働きがいのある会社研究所による「2021年版 日本における『働きがいのある会社』ランキング」にランクイン。

本資料の作成について、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズの変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

お問合せ・個別取材のお申込みは、下記よりIR担当までご連絡ください。

E-mail : ir@cacco.co.jp

IRサイト : <https://cacco.co.jp/ir/>

C O X { [O

未来のゲームチェンジャーの
「まずやってみよう」をカタチに